

E

オーディオ

AUDIOメニューから再生(視聴)する

ソースを選ぶ	E-2
オーディオをON / OFFする	E-2
オーディオの音量を調整する	E-3
オーディオ画面 / 全画面時計表示に切り換える	E-3
ディスクを挿入する / 取り出す	E-4
CDを聞く	E-4
CD再生画面のタイトル情報について	E-6
DVDを見る	E-7
DVDの設定をする	E-10
再生言語の設定	E-10
ダイナミックレンジ圧縮の設定	E-12
モニター設定	E-12
視聴制限レベルの設定	E-13
TVを見る	E-14
TVの設定をする	E-19
ラジオで交通情報を聞く	E-21
FM / AMを聞く	E-21

iPodの接続	E-24
iPodのミュージックを聞く	E-25
Music Rackの音楽を聞く	E-27
BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て	E-29
BLUETOOTH Audio機器を再生するための準備	E-29
登録した機器の一覧を見る	E-30
本機のBLUETOOTH情報を確認する	E-30
BLUETOOTH Audioを聞く	E-31
SDカードを挿入する / 取り出す	E-33
USBメモリーを本機に接続する	E-34
SDカード / USBメモリーの音楽を聞く	E-34
SDカード / USBメモリーの画像を見る	E-37
SDカード / USBメモリーの動画を見る	E-38
外部機器の音声を聞く	E-39
オーディオ設定をする	E-40
AUDIOメニューをカスタマイズする	E-44

AUDIOメニューから再生(視聴)するソースを選ぶ

1 AUDIO を押す。

⇒AUDIOメニューが表示されます。

※再生中のオーディオ画面に切り換わる場合があります。この場合は、再度 **AUDIO** を押してください。

2 再生(視聴)するソースを選んでタッチする。

ページ送り/戻しをします。(◀/▶が表示されているときは、左右にドラッグ/フリックしてもページ送り/戻しができます。)



お知らせ

- **カスタマイズ** をタッチしてAUDIOメニューのカスタマイズができます。[E-44]
- 走行中はドラッグ/フリック操作ができません。

オーディオをON / OFFする

1 音量ノブを押す。

⇒オーディオのON / OFFが切り換わります。

お知らせ

- CD録音中の場合、CDソースをOFFにしても録音は継続されます。
- BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、オーディオをOFFしたり本機の電源を切ったりしても、再生を継続するものがあります。電池の消費などが気になる場合には、機器側で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

オーディオの音量を調整する

- 1 オーディオ再生中に音量ノブを回す。

音量表示
(音量調整中に表示)



お知らせ

- オーディオ OFF のときは音量調整できません。
- DVD、BLUETOOTH Audio、AUX ソースは個別に音量調整できます。

消音(ミュート)するには

(オプションボタン) にミュート機能を設定 (P.37) している場合は、 を押すと音を消すことができます。消音(ミュート)を解除するには再度 を押してください。

アイドリングストップ時の音量制限について

- 車両の装備やグレードによっては、アイドリングストップ中は電力消費を抑えるため、音量が制限される場合があります。
- アイドリングストップ中のため音量が制限されたときにメッセージを表示するかどうかを設定することができます。**[MENU] → 設定/情報 → サウンド → オーディオ詳細設定** をタッチし、“アイドリングストップ時の音量制限お知らせ”の **する** / **しない** を選んでタッチしてください。

オーディオ画面 / 全画面時計表示に切り換える

地図画面をオーディオ画面に切り換える

- 1 **AUDIO** を押す。

※オーディオ OFF の場合は AUDIO メニューが表示されます。

オーディオ画面を全画面時計表示に切り換える

- 1 オーディオ各ソースの画面で時計表示部をタッチする。

※画像 / 映像を再生するソース、TV ソースの場合は切り換えることができません。

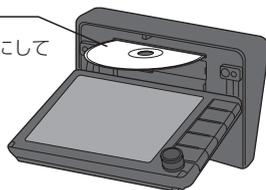
※オーディオ画面に戻すには、画面をタッチしてください。

ディスクを挿入する／取り出す

ディスクを挿入する

- 1  → **OPEN/CLOSE** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 ディスク挿入口にディスクを挿入する。
※ 挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。

ディスク
記録面を下にして
入れる。



ディスクを取り出す

- 1  → **DISC EJECT** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 2 ディスクを取り出す。
- 3  を押して、ディスプレイを閉じる。

 を押すと表示される画面



DISC-IN : ディスク挿入済
NO-DISC : ディスク未挿入

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気をつけください。
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

CDを聞く

1 ディスクを挿入する。 上記

▶ : 通常再生
▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し

再生時間

タイトル情報

CD再生画面( タッチ時)



各種マーク

- ・イコライザー設定マーク
- ・サラウンド設定マーク
- ・再生モードマーク
- ・再生ファイルマーク (MP3/WMA再生時のみ)

お知らせ

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。(自動録音/手動録音は変更できます。  F-4)
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから **CD** をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

CDを聞く

選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀ / ▶ をタッチする。

トラックリストから曲を選ぶ

- ①  をタッチして、トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

MP3/WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

前の/次のフォルダを再生する*¹

フォルダ◀ / フォルダ▶ をタッチする。



-  : トラックリスト表示にします。
-  : タイトル情報表示にします。
-  : 前のトラックに戻します。
-  : 次のトラックに進めます。

- フォルダ◀ : 前のフォルダに戻します。*¹
- フォルダ▶ : 次のフォルダに進めます。*¹

早戻し/早送りする

- 1  /  をタッチし続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

リピート/ランダム/スキャン再生する

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート** / **ランダム** / **スキャン** を選んでタッチする。

※ **リピート** はタッチするたびに、リピートトラック/リピートフォルダ*¹/リピート解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
リピートフォルダ* ¹	選曲中のフォルダ内で繰り返し再生
ランダム	音楽CD再生時 : ディスク内の曲をランダム再生 MP3/WMA再生時 : 選曲中のフォルダ内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

* 1…MP3/WMA再生時のみ有効です。

CDを聞く

CD再生画面のタイトル情報について

本機は挿入された音楽CDのタイトル情報(トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル分類)をCD再生画面に表示することができます。

本機はGracenoteデータベースを持っています。音楽CDが挿入されたとき、本機データベースを検索し、挿入したCDの情報が見つかった場合、CD再生画面にトラック名などのタイトル情報を表示します。



タイトル情報 — オンライン検索します。

お知らせ

- 全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
- 音楽CDにCD-TEXT情報がある場合、タイトル情報はCD-TEXT情報で表示されます。(ジャンルは空欄となります。)
※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- 音楽CDにCD-TEXT情報がなく本機データベース検索でCDの情報が見つからなかった場合、アーティスト名/アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(録音曲選択画面では“トラックXX”、XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。

タイトル情報が適切に表示されていない場合は、挿入したCDが新譜などのため本機データベースに情報が無い、または間違ったタイトル情報を取得してしまった可能性があります。

オンライン検索(☞下記)、またはパソコンを利用したデータベース更新(☞F-9)を行ってください。

オンライン検索をする

インターネットナビ・データ通信USBを使用して、オンラインでGracenote音楽認識サービスより新タイトル情報を取得できます。

1 CD再生画面で「オンライン検索」をタッチする。

☞インターネットナビ・データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功すると現在挿入中の音楽CDのタイトル情報を取得します。

※タイトル情報を取得すると、CD再生画面および本機データベースのタイトル情報を更新します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に「中止」をタッチしてください。

お知らせ

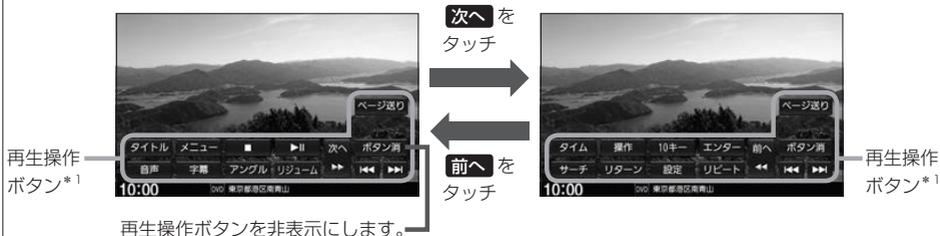
- 本操作によるオンライン検索はすでに録音した曲のタイトル情報の取得/更新はできません。すでに録音した曲のオンライン検索をするには☞F-10
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
 - ・接続しているインターネットナビ・データ通信USBの圏外に車が移動したとき
 - ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 発売後間もない新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報の検索結果が複数ある場合は、どのタイトル情報に更新するか選んでください。

DVDを見る

- 1 ディスクを挿入し(▶ E-4)、AUDIOメニュー(▶ E-2)から **DVD** をタッチする。
⇒再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。

再生操作ボタン

DVD再生中に **MENU** を押すと再生操作ボタンが表示されます。



お知らせ

ディスクによって、特定の操作を禁止している場合があります。この場合、再生操作ボタンをタッチしても実行できません。

早戻し／早送りする

- 1 **◀◀** / **▶▶** をタッチし続ける。
※指を離すと通常再生に戻ります。

停止する

- 1 再生操作ボタンの **■** をタッチする。
※再生中に **■** をタッチして停止した場合、再生を止めた位置をメモリーしているため、続きから再生できます。(ディスクによってはメモリーしません。)

DVD設定画面を表示します。

※DVD設定を行った場合、続き再生が解除される場合があります。



一時停止する／再生する

- 1 再生操作ボタンの **▶||** をタッチする。
※一時停止中に **▶||** をタッチすると再生に戻ります。

スロー戻し／スロー送りする

- 1 一時停止中に **◀◀** / **▶▶** をタッチし続ける。
※指を離すと通常再生に戻ります。
※VRモードのDVDではスロー戻しができません。

*1… **ページ送り** ボタンはVRモードのDVD再生中のみ表示されます。

DVDを見る

チャプター戻し／チャプター送りする

- 1 **◀** / **▶** をタッチする。

画面表示を切り換える

- 1 再生操作ボタン(**⏮** E-7)の **タイム** をタッチする。

※タッチするたびに画面表示が切り換わります。

下記3通りの画面表示から選んでください。

- 再生時間を表示
- タイトル番号・チャプター番号を表示
- 画面表示しない

画面表示(再生時間表示の例)



好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

- 1 再生操作ボタン(**⏮** E-7)の **サーチ** をタッチする。

- 2 **切換** をタッチして、画面表示を切り換える。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)が切り換わります。

タイトル番号を入力	"TITLE : __/XX" を画面表示させる。
チャプター番号を入力	"CHAPTER : __/XXX" を画面表示させる。

- 3 **0** ~ **9** をタッチして、タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※画面表示が表示されている間に入力してください。

画面表示はしばらくすると消えます。消えた場合は再度操作をやり直してください。

- 4 **実行** をタッチする。

お知らせ

ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力した場合は実行できません。

リピート再生する

- 1 再生操作ボタン(**⏮** E-7)の **リピート** をタッチする。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)とともにリピート設定が切り換わります。

再生中のチャプターを繰り返し再生する	"CHAPTER REPEAT" を画面表示させる。
再生中のタイトルを繰り返し再生する	"TITLE REPEAT" を画面表示させる。
繰り返し再生しない	"REPEAT OFF" を画面表示させる。

お知らせ

- ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し／早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。
- ディスクによっては、リピート設定してもリピート再生しない場合があります。

音声言語／字幕言語／アングルを切り換える

1 再生操作ボタン(E-7)の **音声** / **字幕** / **アングル** をタッチする。

※タッチするたびに音声言語／字幕言語／アングルが切り換わります。

お知らせ

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り換えてください。
- ディスクによっては、再生操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り換えができないものがあります。その場合は、DVDメニューやDVD設定の言語設定で切り換えてください。

タイトルメニュー／DVDメニューを表示する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 再生操作ボタン(E-7)の **タイトル** / **メニュー** をタッチする。

タイトル : タイトルメニューを表示 **メニュー** : DVDメニューを表示

タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 タイトルメニュー／DVDメニューでメニュー項目をタッチする。

※再生操作ボタンが表示されている場合は、**ボタン消** をタッチして再生操作ボタンを消してください。

※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。その場合は、画面にカーソル操作ボタンを表示させて操作してください。

再生操作ボタンとカーソル操作ボタン

DVD再生中に **MENU** を押すと再生操作ボタンが表示されます。

VRモードのDVDで静止画を再生中、次の静止画に進めます。



次へ をタッチ

前へ をタッチ

選択している項目を実行します。



メニューに切り換える前の再生画面に戻します。

再生操作ボタンを切り換えます。

操作 をタッチ
1つ前の再生操作ボタンを画面に戻し切り換えます。



▲ / ▼ / ◀ / ▶ : 項目を選びます。

実行 : 選んだ項目を実行します。

ボタン表示を画面の左右に移動します。

DVDを見る

タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

1 再生操作ボタン(E-7)の **タイトル** / **メニュー** をタッチする。

タイトル : タイトルリストを表示 **メニュー** : プレイリストを表示

※VRモードディスクにプレイリストが無い場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。

2 リストから再生したいものを選んでタッチする。

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示します。

タイトルリスト表示(例)



タイトルリスト／プレイリストを切り換えます。

DVDの設定をする

※DVD設定をすると、設定内容によっては続き再生が解除される場合があります。

再生言語の設定

1 再生操作ボタン(E-7)の **設定** → **言語設定** をタッチする。

2 音声言語／字幕言語／メニュー言語それぞれについて、言語を選んで設定する。

言語コードを入力して再生言語を指定する

言語表示のボタンをタッチし、言語コード(E-11)を入力して **決定** をタッチする。
⇒設定後、ボタンが設定言語名で表示されます。

ディスクで優先されている言語で再生する

オリジナル をタッチする。

字幕を表示しない

OFF をタッチする。



言語表示

(言語コードで設定する場合にタッチ)

※ **オリジナル** または **OFF** に設定されている場合は「言語を選択」と表示します。

各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

- 言語コード入力するとき、入力した数字を修正するには **クリア** をタッチして数字を再度入力してください。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

DVDの設定をする

言語コード表

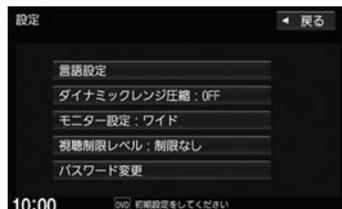
コード	言語	コード	言語	コード	言語	
1027	AA	アフアル語	1239	IE	国際語	
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カナダ語	
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	(アフアン) オロモ語	
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語	
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ=ロマン語	
				1482	RN	キルンディ語
				1483	RO	ルーマニア語
				1489	RU	ロシア語
				1491	RW	キニヤルワンダ語
				1495	SA	サンスクリット語
				1498	SD	シンド語
				1501	SG	サンゴ語
				1502	SH	セルビアクロアチア語
				1503	SI	シンハラ語
				1505	SK	スロバキア語
				1506	SL	スロベニア語
				1507	SM	サモア語
				1508	SN	ショナ語
				1509	SO	ソマリ語
				1511	SQ	アルバニア語
				1512	SR	セルビア語
				1513	SS	シスワティ語
				1514	ST	セストゥ語
				1515	SU	スندا語
				1516	SV	スウェーデン語
				1517	SW	スワヒリ語
				1521	TA	タミール語
				1525	TE	テルグ語
				1527	TG	タジク語
				1528	TH	タイ語
				1529	TI	ティグリニャ語
				1531	TK	トゥルクメン語
				1532	TL	タガログ語
				1534	TN	セツワナ語
				1535	TO	トンガ語
				1538	TR	トルコ語
				1539	TS	ツォンガ語
				1540	TT	タタール語
				1543	TW	トウイ語
				1557	UK	ウクライナ語
				1564	UR	ウルドゥー語
				1572	UZ	ウズベク語
				1581	VI	ベトナム語
				1587	VO	ボラビュク語
				1613	WO	ウォロフ語
				1632	XH	コーサ語
				1665	YO	ヨルバ語
				1684	ZH	中国語
				1697	ZU	ズール語

DVDの設定をする

ダイナミックレンジ圧縮の設定

本設定をONにすると、ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に、最小音と最大音の音量差を縮めて再生します。小さい音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **設定** → **ダイナミックレンジ圧縮** をタッチする。



- 2 **ON** / **OFF** を選んでタッチする。

モニター設定

画面のアスペクト比を設定できます。

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **設定** → **モニター設定** をタッチする。

- 2 設定したいアスペクト比(**ワイド** / **レターボックス** / **パン&スキャン**)を選んでタッチする。

お知らせ

ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **視聴制限レベル** をタッチする。
- 2 設定したい視聴制限レベル(**レベル1** ~ **レベル8** / **制限なし**)を選んでタッチする。
- 3 視聴制限のパスワードを入力し、 **決定** をタッチする。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
※パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

視聴制限のパスワードを変更する

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **パスワード変更** をタッチする。
- 2 “現在のパスワード” / “新しいパスワード” / “パスワード再入力” をそれぞれ入力し、 **決定** をタッチする。

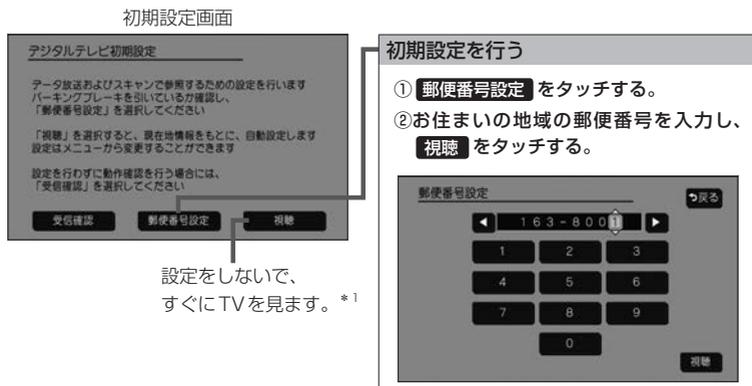
お知らせ

- パスワード入力するとき、入力した数字を修正するには **クリア** をタッチして数字を再度入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、“現在のパスワード”に“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限できません。

TVを見る

1 AUDIOメニュー(Ⓛ E-2)から**TV**をタッチする。

初期設定をしていない場合、AUDIOメニューから**TV**をタッチしたあと、初期設定画面が表示されます。初期設定が終わると、TV画面が表示されます。



お知らせ

引っ越しなどで受信地域が変更になった場合は、ユーザー情報設定(Ⓛ E-19)を行ってください。

緊急警報放送について

緊急警報放送(EWS : Emergency Warning System)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送(EWS)を受信したら、自動的に緊急警報放送に切り換わります

- ・ 緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- ・ 視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- ・ 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- ・ TVソース以外のソースを選んでも緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り換わることがあります。

* 1…郵便番号は現在地情報をもとに自動で設定されますので、お住まいの地域の設定に変更するために、ユーザー情報設定を変更してください。Ⓛ E-19

TV操作画面

TV視聴中に画面をタッチするとTV操作画面が表示されます。

TV操作画面

視聴中の番組の表示

チャンネルリスト
(タッチして選局できます。)



TV画面に戻ります。

番組表を表示します。

カーソルパネルを表示します。

チャンネルリストを
切り換えます。

TVメニューを表示します。

選局する

1 TV操作画面(上記)のチャンネルリストから選んでタッチする。

お知らせ

1つの放送局に複数の番組(サービス)が放送されている場合

TV操作画面のチャンネルリストで複数の番組(サービス)が放送されている放送局をタッチすると、タッチするたびに番組(サービス)が切り換わります。

チャンネルリスト(プリセットモード)を切り換える

1 TV操作画面(上記)で **USER.P** / **AREA.P** をタッチする。

お知らせ

- **USER.P** を選ぶと、ユーザープリセットのリストに切り換わります。ユーザープリセットのリストは、スキャンを行い受信できる放送局を探して設定したチャンネルリストです。初めて **USER.P** をタッチしたときは、スキャンするかどうかメッセージが表示されますので、**はい** をタッチしてスキャンを行ってください。
- **AREA.P** を選ぶと、エリアプリセットのリストに切り換わります。エリアプリセットのリストは、現在地情報をもとに自動で設定したチャンネルリストです。

地上デジタル(12セグ)/ワンセグを切り換える

1 TV操作画面(上記)で **メニュー** をタッチし、“受信モード”の **自動切替** / **ワンセグ** / **地上D** をタッチする。

自動切替 電波の受信状況により、12セグ/ワンセグを自動で切り換えます。

ワンセグ 受信状況に関わらずワンセグを受信します。

地上D 受信状況に関わらず12セグを受信します。

TVを見る

信号切り換えを行う

- 1 TV操作画面(☞ E-15)で **メニュー** → **設定** → **信号切替** をタッチする。
- 2 各項目を設定する。

マルチビュー	視聴中のチャンネルで主番組と副番組が放送されている場合、◀ / ▶ で切り換えることができます。
映像	視聴中の番組に複数の映像がある場合、◀ / ▶ で切り換えることができます。
音声	視聴中の番組に複数の音声がある場合、◀ / ▶ で切り換えることができます。
二重音声	音声多重放送の場合、◀ / ▶ で切り換えることができます。
字幕	字幕の言語をタッチして選ぶことができます。(表示しない : 字幕を表示しません)
文字スーパー	文字スーパーの言語をタッチして選ぶことができます。(表示しない : 文字スーパーを表示しません)

番組表を見る

- 1 TV操作画面(☞ E-15)の **番組表** をタッチする。

① 前日・翌日に切り換えます。(過去の日は表示できません)
② 表示するチャンネルを選びます。
③ TV画面に戻します。
④ 番組表(タッチすると選んだ番組の番組内容を表示します)
⑤ TV操作画面(チャンネルリストの画面)を表示します。
⑥ 視聴中の番組内容を表示します。
⑦ 表示する時間帯を選びます。(過去の番組は表示できません)
⑧ 番組表の拡大/縮小します。

お知らせ

- 番組表表示形式の設定(☞ E-20)をすると、1つの放送局(チャンネル)に複数の番組がある場合に、1番組のみ表示するか、全番組を表示するかを選べます。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

視聴予約をする

- 1 TV操作画面(図E-15)の**番組表**をタッチする。
- 2 番組表から視聴予約したい番組を選んでタッチする。

⇒番組内容画面が表示されます。

- 3 **視聴予約**をタッチする。

すでに放送が始まっている番組を選んだ場合は**今すぐ見る**が表示されます。(**今すぐ見る** をタッチすると、TV画面に切り換わります。)

番組属性の表示に切り換える

番組内容の表示に切り換える

番組内容画面



お知らせ

- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に予約した番組が始まると、その番組のチャンネルに切り換わります。
- 他のソース使用中に予約した番組が始まると、自動でTVソース(予約番組)に切り換わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約した番組のチャンネルに切り換わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 走行中でも視聴予約は実行されますが、TV映像は表示されません。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約した番組が終了しても、予約番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- 受信モードが**自動切替**になっていないと、視聴予約したチャンネルに切り換えられない場合があります。(例：ワンセグ番組表で視聴予約していて、予約開始時間に受信モードを**地上D**にしていると、視聴予約は実行できません。)
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

視聴予約を確認する／削除する

- 1 TV操作画面(図E-15)で**メニュー**⇒**設定**⇒**視聴予約確認／編集**をタッチする。



視聴予約のリスト

視聴予約を削除する

- ① 視聴予約のリストから削除したい番組を選んでタッチして✓印をつける。
※タッチするたびに✓印の表示⇄非表示が切り換わります。
- ② **取消**をタッチする。

: **取消**をタッチすると、視聴予約リストから削除します。

: 視聴予約リストから削除しません。

TVを見る

カーソルパネルを表示する(データ放送を見る)

1 TV操作画面(図 E-15)の **d操作** をタッチする。

⇨カーソルパネルが表示されます。

カーソルパネル



⑤ ⑥ ⑦

操作を
タッチ

数字パネル



⑧ ④ ⑨ ⑤ ⑩ ⑦

- ① 色ボタン
- ② データ放送を表示します。
(データ放送表示時に再度タッチすると、
通常放送画面に戻ります。)
- ③ データ放送画面内の項目を選択/実行します。
- ④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻ります。
- ⑤ カーソルパネル/数字パネル表示位置の変更
します。(画面左/右)
- ⑥ 数字パネルに切り換えます。
- ⑦ カーソルパネル/数字パネルを消します。
- ⑧ 数字ボタン
- ⑨ 入力した数字を決定/実行します。
- ⑩ カーソルパネルに切り換えます。

お知らせ

- 文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。

文字カーソルを移動します。

カーソルパネルに戻ります。

入力した1文字を消します。
※途中の文字を消す場合は、◀ ▶で
修正したい文字の右側に文字カーソル
を移動し、**修正**をタッチします。

入力した文字で実行します。

- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

TVの設定をする

ユーザープリセットのチャンネル設定をする

- 1 TV操作画面(☞ E-15)で **メニュー** をタッチする。
- 2 “ユーザープリセット設定” の **スキャン** / **マニュアル設定** を選んでタッチする。
※ **スキャン** / **マニュアル設定** をタッチできない場合は、TV操作画面(☞ E-15)で **USER.P** をタッチしたあと、手順 **1** からやり直してください。
スキャン …………… スキャンを行い、手順 **3** に進みます。
マニュアル設定 … スキャンを行わないで、手順 **3** (各チャンネルの放送局の確認や変更)のみ行います。
- 3 各チャンネル番号の放送局名を確認して、 **終了** をタッチする。
各チャンネルに設定されている放送局を変更するには、▲ / ▼ をタッチして修正したいチャンネルにカーソルを合わせ、◀ / ▶ をタッチして放送局を選んでください。

ユーザー情報設定を変更する

- 1 TV操作画面(☞ E-15)で **メニュー** → **設定** → **ユーザー情報設定** をタッチする。
- 2 **修正** をタッチする。
- 3 お住まいの地域の郵便番号を入力して、 **次へ** をタッチする。
- 4 お住まいの都道府県を選んでタッチする。
※以下の地域にお住まいの場合は、下記のようにタッチしてください。
・伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： **沖縄・その他の島部** → **東京都島部** をタッチ
・南西諸島鹿児島島部地域にお住まいの場合： **沖縄・その他の島部** → **鹿児島島部** をタッチ
- 5 表示された地域を確認して、 **完了** → **終了** をタッチする。

TVの設定をする

その他の設定をする

- 1 TV操作画面(☞ E-15)で **メニュー** をタッチする。
- 2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

受信モード

地上デジタル(12セグ)／ワンセグを切り換えます。☞ E-15

オート放送局サーチ

する ……受信状態が悪くなった場合、受信状態の良い中継局／系列局に自動で切り換えます。
※必ず切り換えができるわけではありません。

しない ……中継局／系列局に自動で切り換えません。

地上D選局対象

※本設定は地上デジタル(12セグ)放送でのみ有効です。

テレビ ……テレビサービスのみ選局します。

※番組表の表示もテレビサービスのみになります。

テレビ／データ ……テレビサービスと独立データサービスを選局します。

番組表表示形式

第一内容 ……番組表表示するとき、各放送局の第一サービスのみ表示します。

※第一サービス以外のサービスを視聴中の場合は、第一サービスと視聴中のサービスの2つを表示します。

全内容 ……番組表表示するとき、各放送局の全サービスを表示します。

地上D／ワンセグ切替設定

遅延補正あり ……地上デジタル(12セグ)を遅延補正し、12セグとワンセグを切り換えるときスムーズに切り換えます。

遅延補正なし ……地上デジタル(12セグ)を遅延補正しません。

お知らせ

本設定は、設定したあと別のチャンネルに切り換えたときに有効になります。

ユーザープリセット設定

ユーザープリセットのチャンネル設定をします。☞ E-19

TVのデバイスID／ソフト情報を表示する

- 1 TV操作画面(☞ E-15)で **メニュー** → **設定** をタッチする。
- 2 **デバイスID表示** / **ソフト情報表示** を選んでタッチする。

ラジオで交通情報を聞く

1 AUDIOメニュー(☰ E-2)から **交通情報** をタッチする。

2 周波数(**1620kHz** / **1629kHz**)を選んでタッチする。

お知らせ

交通情報を聞いているときにオーディオをOFFにして再度ONにした場合、交通情報には戻りません。再度交通情報を聞くには、AUDIOメニューから **交通情報** をタッチしてください。

FM / AMを聞く

1 AUDIOメニュー(☰ E-2)から **FM** / **AM** をタッチする。

FM受信画面(例)

エリア選局リスト／プリセットリスト
※放送局名は本機の基本データに基づいて表示されます。データの無い放送局名は表示されません。

各種マーク
・イコライザー設定マーク
・サラウンド設定マーク
・ステレオ受信マーク

エリア選局リスト表示にします。
P1 または P2 のプリセットリスト表示にします。
放送局リスト画面を表示します。

オーディオ

選局する

<p>エリア選局する</p>	<p>エリア選局リストから選局する方法です。エリア選局リストには、本機の放送局データをもとにして現在地周辺の放送局が表示されます。</p> <p>① エリア をタッチする。 ⇒エリア選局リスト表示になります。</p> <p>② エリア選局リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選んだ放送局が必ず受信できるわけではありません。 ● 同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、エリア選局リストに重複した放送局が表示されることがあります。 </div>
<p>手動選局する</p>	<p>周波数を手動で変更して選局する方法です。</p> <p>◀◀ / ▶▶ をタッチして、周波数を変える。</p> <p>※タッチするたびに、FMは0.1 MHzずつ、AMは9 kHzずつ変わります。</p> <p>※ ◀◀ / ▶▶ をタッチし続けると、その間周波数が変わり続けます。 お好みの周波数で指を離してください。</p>
<p>自動選局する</p>	<p>周波数を自動で変更して、受信可能な放送局を探す方法です。</p> <p>※受信電波の弱い所では、自動選局ができないことがあります。</p> <p>◀◀ / ▶▶ を長押しし、“ピッ”と鳴ったらすぐに指を離す。 ⇒選局が始まり、受信可能な放送局の周波数になると自動で止まります。</p> <p>※自動選局中に ◀◀ / ▶▶ をタッチすると自動選局は止まります。</p>
<p>放送局リストで選局する</p>	<p>本機が自動サーチして、受信可能な放送局をリスト表示します。 そのリストから選ぶ方法です。</p> <p>① 放送局リスト をタッチする。 ⇒リスト画面になります。</p> <p>② リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。</p>
<p>プリセット選局する</p>	<p>お好みの放送局をあらかじめ本機に登録(☑E-23)しておき、登録した放送局のリスト(プリセットリスト)から選ぶ方法です。</p> <p>① P1 / P2 から選んでタッチする。 ⇒放送局リストがP1またはP2のプリセットリストに変わります。</p> <p>② プリセットリストから聞きたい放送局を選んでタッチする。</p>

プリセットリストに放送局を登録する

P1 / P2それぞれ6局まで登録できます。

- 1 登録したい放送局を選局する。
- 2 プリセットリスト(**P1** / **P2**)を選んでタッチする。
- 3 プリセットリストから登録先のボタンを選んでタッチし続ける。

⇒タッチし続けたボタンの表示が現在選局中の放送局表示に変わります。

エリア選局リスト／放送局リストの更新について

FM / AMを聞いている間は、別のエリアへ移動してもエリア選局リスト／放送局リストを自動更新しません。このため、長距離移動したときなどは下記方法により手動でリストを更新してください。

エリア選局リストを更新する

受信画面で **エリア更新** をタッチする。

放送局リストを更新する

受信画面で **放送局リスト** → **リスト更新** をタッチする。

⇒サーチが開始され、完了すると放送局リストが更新されます。

※ **リスト更新** をタッチすると、エリア選局リストの放送局名も更新されます。

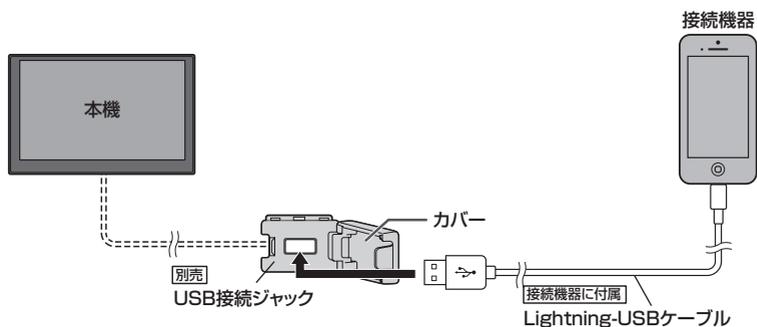
※ サーチした結果、受信可能な放送局が見つからなかった場合はもとのリストのままになります。

お知らせ

周波数再編について

- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに登録してください。
- 本機はワイドFM(FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、災害や電波障害に強いFMの周波数帯を使いAMラジオの番組を放送することです。AM放送が聴き取りにくい地域でもFM放送でAMラジオの番組を聴くことができます。ワイドFMの対応、周波数などについては、各地域放送局のホームページをご確認ください。

iPodの接続



お知らせ

- USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。
- USB接続ジャックにUSBメモリーやUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。
- USB接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- iPodによってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体でお使いください。

iPodのミュージックを聞く

※あらかじめiPodを接続しておく必要があります。[E-24]

1 AUDIOメニュー([E-2])からiPodをタッチする。



選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ をタッチする。

トラックリストから曲を選ぶ

- ① [E-2] をタッチして、トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって変わります。

選曲モードから選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② **選曲方法** を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。(手順③に進みません。)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲します。



オーディオ

アーティストリスト画面(例)

“アーティスト”と表示の画面ではリストから再生したい曲のアーティストを選んでください。

アーティストの絞り込みをせずにアルバム選択のリストに移ります。



iPodのミュージックを聞く

早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** をタッチし続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

- 1 **⏸** をタッチする。

※一時停止中に **⏸** をタッチすると再生に戻ります。

リピート／シャッフル再生する

- 1 **再生モード** をタッチする。

- 2 **リピート** / **シャッフル** を選んでタッチする。

※ **シャッフル** はタッチするたびに、シャッフルトラック／シャッフルアルバム／シャッフル解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
シャッフルトラック	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
シャッフルアルバム	現在のトラックリストの曲順をアルバム単位で順不同にして再生 (アルバム内は順番に再生)

お知らせ

- タイトル情報／選曲モードは iPod 本体に収録されている内容となります。
- iPod のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- iPod の機種やバージョンによっては、タイトル情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod 本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では-(ハイフン表示)となります。
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

Music Rackの音楽を聞く

本機でSDカードに録音した曲を再生します。

※再生前に、録音に使用したSDカードを挿入しておく必要があります。(録音 [E-2]、SDカードの挿入 [E-33])

1 AUDIOメニュー([E-2])から **Music Rack** をタッチする。



選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	<p>⏪ / ⏩ をタッチする。</p> <p>選曲モードから選曲します。</p>
トラックリストから曲を選ぶ	<p>① [≡] をタッチして、トラックリスト表示にする。</p> <p>② 再生したい曲を選んでタッチする。</p> <p>お知らせ</p> <p>トラックリストは選曲モードによって変わります。</p>
再生するアルバムを選ぶ	<p>① [▶] をタッチして、アルバムリスト表示にする。</p> <p>② 再生したいアルバムを選んでタッチする。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 選曲モードで ジャンル / お気に入り (トラック1~トラック4) を選んだ場合は [▶] はタッチできません。 アルバムリストは選曲モードによって変わります。
前の/次のアルバムを再生する	<p>アルバム- / アルバム+ をタッチする。</p> <p>お知らせ</p> <p>選曲モードで ジャンル / お気に入り (トラック1~トラック4) を選んだ場合は アルバム- / アルバム+ は表示されません。</p>

オーディオ

Music Rack の音楽を聞く

選曲する

選曲モードから
選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② **選曲方法** を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。
(手順③に進みません。)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、
再生したい曲を選んでタッチする。

アーティスト画面(例)

アーティスト

戻る

001 XXXXXXXXXXXXXXXX 名前順

002 XXXXX 登録順

003 00000000 再生中画面

10:00 東京都港区南青山

再生画面にします。

“アーティスト”と表示の画面ではリストから再生したい曲のアーティストを選んでください。

リストを名前順に並べ替えます。*1 (タイトル情報の“よみ”に基づいて50音順に並べ替えます。“よみ”情報が無いものは一番下に並べます。)
※別の画面に切り換わると、登録順の並びになります。

リストを録音した順に並べ替えます。*1 (新しいものが一番上です。)

早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** をタッチし続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

リピート／ランダム／スキャン再生する

- 1 再生画面(図 E-27)の**再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート** / **ランダム** / **スキャン** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

* 1…リストの並べ替えボタン (**名前順** / **登録順**) は、アーティストリスト表示またはアルバムリスト表示(お気に入りアルバムを除く)のときのみ表示されます。

BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て

BLUETOOTH Audio 機器を再生するための準備

BLUETOOTH Audioを聞くには、あらかじめBLUETOOTH Audio機器の登録と割り当てをしておく必要があります。

BLUETOOTH Audio 機器を本機に登録する

BLUETOOTH Audio機器の登録は、本機とBLUETOOTH Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※ BLUETOOTH Audio機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐため周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源はお切りください。

1 MENU → 電話 → 設定 → 機器登録 → BLUETOOTH Audio をタッチする。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器がBLUETOOTH接続中の場合は切断する必要があります。切断するかメッセージが表示された場合は **はい** を選んで切断してください。

2 BLUETOOTH Audio 機器側を操作して登録を行う。

お知らせ

登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。BLUETOOTH Audio機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 **はい** をタッチすると登録が完了します。

割り当てを行う

割り当て…BLUETOOTH Audioを再生するとき、登録した機器のうちどの機器をBLUETOOTH接続するかを設定すること。

1 MENU → 電話 → 設定 → 登録機器一覧 → BLUETOOTH Audio をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

※ BLUETOOTH Audio機器が登録されていない場合、登録機器一覧 → BLUETOOTH Audio はタッチできません。

2 割り当てを行う機器の **接続する** をタッチする。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度 **接続する** をタッチしてください。



お知らせ

- BLUETOOTH Audio機器は2台まで登録可能です。(BLUETOOTH接続できるBLUETOOTH Audio機器は1台までです。)
- 本機に登録済みのBLUETOOTH Audio機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て

登録した機器の一覧を見る

- 1 MENU → 電話 → 設定 → 登録機器一覧 → BLUETOOTH Audio をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

※BLUETOOTH Audio機器が登録されていない場合、登録機器一覧 → BLUETOOTH Audio はタッチできません。

登録を削除する

- 1 登録機器一覧画面で、削除したい機器の削除 をタッチする。

登録機器の詳細情報を見る

- 1 登録機器一覧画面で、詳細情報を見たい機器の詳細 をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

- 1 MENU → 電話 → 設定 → 本体情報 をタッチする。

⇒BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で
デバイス名変更 をタッチする。



- 2 デバイス名を入力し、決定 をタッチする。

パスキーを変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面でパスキー変更 → BLUETOOTH Audio をタッチする。
- 2 パスキーを入力し、決定 をタッチする。

BLUETOOTH Audioを聞く

※あらかじめBLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て(☞ E-29)をしておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)から **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは  をタッチしてください。



お知らせ

- 上記の画面表示や操作ボタンは、機器によって一部表示されない場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合はBLUETOOTH接続できません。
- 接続機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、接続機器側の音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例: iPodとケーブル接続している場合)
- 接続機器によっては、本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、接続機器側で操作してください。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続し直してください。
- ジャケット写真(アルバムアートワーク)は、BLUETOOTH Audioでは表示されません。

BLUETOOTH Audioを聞く

選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ をタッチする。

トラックリストから曲を選ぶ

※ AVRCP ver. 1.3以下では操作できません。

- ①  をタッチして、トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲する

※ AVRCP ver. 1.3以下では操作できません。

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② 選曲方法を選んでタッチする。
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲します。



お知らせ

- 再生したい曲を選んだあと、再生画面に戻るには **再生中画面** ◀ をタッチしてください。
- 機器によっては **選曲モード** をタッチしても選曲モード画面を表示できない場合があります。
- 機器によっては選曲モードに表示される内容や選曲操作方法が異なる場合があります。

早戻し／早送りする

1 ◀◀ / ▶▶ をタッチし続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※ 早送り／早戻しを始めてすぐ解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は  (再生) をタッチして解除してください。

一時停止する

1  をタッチする。

※ 一時停止中に  をタッチすると再生に戻ります。

リピート／ランダム再生する

※ AVRCP ver.1.4以上でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート** / **ランダム** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。

再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生



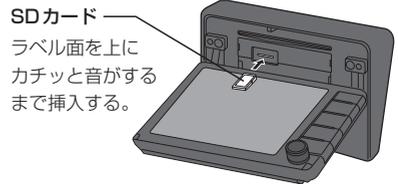
SDカードを挿入する／取り出す

オーディオ

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。
また、取り出すときは必ずアダプターごと取り出してください。

SDカードを挿入する

- 1 **▲** → **OPEN/CLOSE** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 SDカード挿入口にSDカードを挿入する。
※ 挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。



SDカードを取り出す

- 1 **▲** → **OPEN/CLOSE** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 SDカードを1回押して、取り出す。
- 3 **▲** を押して、ディスプレイを閉じる。

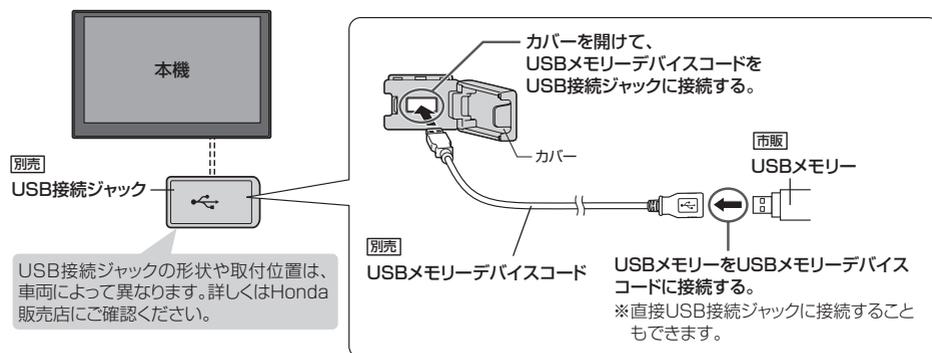
お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。
- 長時間使用すると、SDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- お買い上げ時、本機に8GBのSDカードが挿入されています。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

USBメモリーを本機に接続する

※ USBメモリーはUSB接続ジャック(別売)に接続してください。

間違えてインターナビUSBコードに接続しないよう、ご注意ください。



- 接続/取り外しは、本機の電源を切ってからまたはオーディオOFFにしてから行ってください。再生中に接続/取り外しをすると、USBメモリーの本体やファイルが壊れたり、雑音発生によりスピーカーが破損する場合があります。
- USB接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。内部に異物が入ったり、カバーが体に当たって破損するおそれがあります。
- USB接続ジャックにiPodが接続されている場合は外してください。
※ USBメモリー使用時、iPodは使用できません。

SDカード / USBメモリーの音楽を聞く

※あらかじめSDカードを本機に挿入(☞ E-33) / USBメモリーを本機と接続(☞ 上記)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)からSD / USBをタッチする。

SDカード：SDをタッチ、USBメモリー：USBをタッチ

※画像/動画が再生された場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させ、

モード切換 → **音楽ファイル** をタッチすると音楽再生に切り換わります。



選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ をタッチする。

トラックリストから曲を選ぶ

- ① をタッチして、トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって変わります。

再生するフォルダを選ぶ

- ① をタッチして、フォルダリスト表示にする。
- ② 再生したいフォルダを選んでタッチする。

前の／次のフォルダを再生する

フォルダ- / **フォルダ+** をタッチする。

選曲モードから選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② 選曲方法を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。(手順③に進みません。)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

フォルダリスト画面(例)

“フォルダ” と表示の画面ではリストから再生したい曲のフォルダを選んでください。



再生画面にします。



- : フォルダリスト表示にします。
- : トラックリスト表示にします。
- : タイトル情報表示にします。
- : 前のトラックに戻します。
- : 次のトラックに進めます。
- フォルダ-** : 前のフォルダに戻します。
- フォルダ+** : 次のフォルダに進めます。

SDカード／USBメモリーの音楽を聞く

早戻し／早送りする

- 1 **◀◀**／**▶▶** をタッチし続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

リピート／ランダム／スキャン再生する

- 1 再生画面(E-34)の **再生モード** をタッチする。

- 2 **リピート**／**ランダム**／**スキャン** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

SDカード／USBメモリーの画像を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入(☞ E-33)／USBメモリーを本機と接続(☞ E-34)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)からSD／USBをタッチする。

SDカード：SDをタッチ、USBメモリー：USBをタッチ

※音楽／動画が再生された場合は、モード切換 → 画像ファイル をタッチすると画像再生に切り換わります。(動画再生中の場合、画面をタッチしてモード切換 を表示させてください。)

再生する画像を選ぶ

1つずつ画像を戻したり進めたりする 操作ボタン非表示時に左右ヘドラッグ／フリックする。

画像リストから選ぶ

※スライドショー中は操作できません。

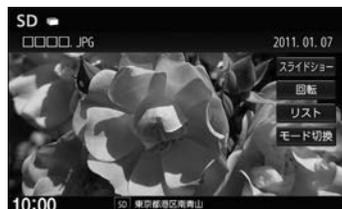
- ① リスト をタッチする。
※ リスト は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。
- ② フォルダを選んでタッチする。
- ③ 再生したい画像を選んでタッチする。

スライドショーで画像を見る

※現在選択中のフォルダ内の画像ファイルをスライドショーします。

1 スライドショー をタッチする。

※ スライドショー は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。



スライドショーをやめる 終了 をタッチする。

※ 終了 はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

再生間隔を変える

- ① 再生間隔 をタッチする。
※ 再生間隔 はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。
- ② 再生間隔の時間を選んでタッチする。
- ③ 閉じる → 開始 をタッチする。

表示中の画像を回転させる

※スライドショー中は操作できません。

1 回転 をタッチする。

※ 回転 は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

※ 回転 をタッチするたびに表示中の画像が90° ずつ時計回りに回転します。

SDカード／USBメモリーの動画を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入(☞ E-33)／USBメモリーを本機と接続(☞ E-34)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)からSD／USBをタッチする。

SDカード：SDをタッチ、USBメモリー：USBをタッチ

※音楽／画像が再生された場合は、モード切換→動画ファイルをタッチすると動画再生に切り換わります。(画像再生中の場合、画面をタッチしてモード切換を表示させてください。)

再生する動画を選ぶ

1つずつ動画を戻したり
進めたりする

⏮ / ⏭ をタッチする。

動画リストから選ぶ

① 再生リストをタッチする。

※ 再生リストは動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

②再生したい動画を選んでタッチする。



リストを変更して選ぶ

① リスト変更をタッチする。

② 全ファイル / フォルダを選んでタッチする。

※ フォルダをタッチした場合は、リストからフォルダを選んでタッチしてください。

③再生したい動画を選んでタッチする。

早戻し／早送りする

1 ⏮ / ⏭ をタッチし続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

1 ⏸ をタッチする。

※ ⏸ は動画再生中に画面をタッチ则表示されます。

※一時停止中に ⏸ をタッチすると再生に戻ります。

外部機器の音声を聞く

市販のポータブルオーディオ機器などの音声を本機で聞くことができます。

準備

接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。

※本機の電源を入れたままポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。

1 外部機器を本機と接続する。



2 本機を起動し、外部機器の電源を入れる。

3 AUDIOメニュー(E-2)から **AUX** をタッチする。

4 ポータブルオーディオ機器などを操作する。

※操作のしかたは接続した機器に付属の説明書をご覧ください。

お知らせ

- 接続される機器の電源を切ってから、本機の電源を切って(車のエンジンスイッチをOFFに入れて)ください。
- 接続した機器によっては音が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 音声最大入力レベルが2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)を超えた機器を接続した場合、音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

オーディオ設定をする

1

MENU → **設定／情報** → **サウンド** をタッチする。

※ DVD を見ているときは **MENU** を 2 回押すことが必要となる場合があります。

2

サウンド画面の各ボタンをタッチして、設定を行う。

サウンド画面では、以下の設定を行うことができます。

フェード・バランス設定

前後左右のスピーカーの音量バランスを設定します。

イコライザー設定

各帯域の音のレベル設定をして、音質調整をします。



音響効果の設定

サラウンドの種類を選んで設定します。

スピーカー設定

スピーカー出力レベル・スピーカーディレイ・スピーカーサイズの設定をします。

その他のオーディオ詳細設定

車速連動音量設定をします。

お知らせ

- オーディオ OFF のときはオーディオ設定はできません。オーディオ ON にしてから設定してください。
- イコライザー設定と音響効果の SRS CS Auto 設定は同時に両方有効にはできません。(例：SRS CS Auto を設定すると、イコライザー設定は OFF になります。)
- スピーカー出力レベル、スピーカーディレイ、スピーカーサイズの設定は、音響効果の設定で **OFF** / **音の匠** / **DSP** に設定しているときに有効です。

フェード・バランス設定をする

1 サウンド画面で“FADE／BALANCE”の**詳細設定**をタッチする。

2 ▼／▲／◀／▶をタッチして、調整する。

▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後スピーカーの音量が下がる。
◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。



イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

前後左右のスピーカーの音量バランスをセンターに戻します。

イコライザー設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“イコライザープリセット”の **VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER** から好みのイコライザー設定を選んでタッチする。

※音響効果設定で“SRS CS Auto”を設定している場合はタッチできません。

イコライザー設定を解除する

OFF をタッチする。

お知らせ

USER は初期値がOFF(各帯域のレベルが全てゼロ)ですので、イコライザーの詳細設定(設定値の変更)を行って使用してください。

イコライザープリセットの設定値を変更する

- ①サウンド画面で“イコライザープリセット”の **詳細設定** をタッチする。
- ②設定値の変更をしたいボタン(**VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER**)を選んでタッチする。
- ③各帯域の ▲ / ▼ をタッチしてレベルを調整する。
- ④ **登録** をタッチする。



周波数帯域

イコライザーのレベルを青色バーで表示
※この表示部分をタッチしてもレベル調整が可能です。

手順②で選んだボタンの設定値を初期値に戻します。

車速連動音量を設定する

車の速度に応じてオーディオ音量を自動調整するよう設定できます。

- 1 サウンド画面で **オーディオ詳細設定** → “**車速連動音量**” の **設定する** をタッチする。
- 2 **HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** / **OFF** から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

お知らせ

車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、オーディオ音量のみです。

オーディオ設定をする

音響効果の設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“エフェクト”の **音の匠** / **SRS CS Auto** / **DSP** から音響効果を選んでタッチする。

音響効果の設定を解除する

OFF をタッチする。

音響効果の選択ボタン



選んだ音響効果によって、この部分の表示が変わります。

音の匠

サウンド [マスタースOUND] XXXXXXには車種名が入ります。

SRS CS Auto

サウンド [詳細設定] タッチするとSRS CS Autoの詳細設定ができます。

DSP

サウンド [HALL] ◀ / ▶ をタッチして、音場環境を選択します。

現在選択中の音場環境

音の匠

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しむことができます。

※選択するには、専用スピーカーの装着などの車種別セットアップが必要です。車種別セットアップの詳細はHonda販売店にお問い合わせください。(車種別セットアップでスピーカー出力レベルとスピーカーディレイが最適な値に設定されます。)

SRS CS Auto

SRSのサラウンド効果を得ることができます。必要に応じて下記の詳細設定が可能です。

※2スピーカーでは、設定しても本サラウンド効果は得られません。

詳細設定

- ① “エフェクト”で **SRS CS Auto** を選んだ後、“サウンド”の **詳細設定** をタッチする。
- ② **FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear** をタッチし、それぞれの画面で設定を行う。

FOCUS	感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 (車内環境によっては耳の高さから聞こえない場合があります) + / - をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 (+ …音の聞こえてくる位置が高くなる、- …位置が低くなる)
TruBass	低音の強さを設定できます。 + / - をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 (+ …低音が強くなる、- …低音が弱くなる)
MixToRear	DVDによってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定できます。 ◀ / ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 (◀ …出力量が小さくなる、▶ …出力量が大きくなる)

音響効果の設定をする

DSP

いろいろな環境の音場を擬似的に再現することができます。

“エフェクト”で **DSP** を選んだ後、“サラウンド”の ◀ / ▶ をタッチして、疑似再現したい音場環境を選んでください。

- LIVE** …………… ライブハウスのような音場
- HALL** …………… コンサートホールのような音場
- STADIUM** …… スタジアムのような音場
- CHURCH** …… 残響音の多い教会のような音場

スピーカーの出力レベルを設定する

- 1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカー出力レベル** をタッチする。
- 2 ◀ / ▶ をタッチして各スピーカーの出力レベルを設定する。

お知らせ

0 dBが標準で、マイナス値にすると出力が小さくなります。

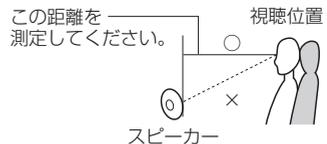
スピーカーディレイを設定する

視聴位置から最も距離の離れたスピーカーに合わせて他のスピーカーの出力タイミングを遅らせます。(設定値 10 cm あたり約 0.3 ミリ秒遅らせます)

- 1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカーディレイ** をタッチする。
- 2 ◀ / ▶ をタッチして視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する。

お知らせ

視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



スピーカーサイズを設定する

- 1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカーサイズ** をタッチする。
- 2 “フロント” および “リア” それぞれの **LARGE** / **NORMAL** を選んでタッチする。

設定の目安

LARGE	スピーカーの大きさ 17 cm 以上
NORMAL	スピーカーの大きさ 16 cm 以下

※ 上記は目安ですので、設定する場合は SRS CS Auto を ON にした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方を選んでください。

AUDIO メニューをカスタマイズする

※お好みにカスタマイズできるのは **AUDIO** を押して最初に表示される画面のみです。

- 1 AUDIOメニュー(Ⓔ E-2)から **カスタマイズ** をタッチする。
※ **カスタマイズ** をタッチした後、メッセージが表示されますので、**OK** をタッチしてください。
- 2 ◀ / ▶ をタッチして、画面に表示されるボタンの数(3~8個)を変更する。
- 3 各ボタンをタッチして、ボタンを変更する。
- 4 **決定** をタッチする。



配置をお買い上げ時に戻します。
(ボタンの数は戻しません)

表示されるボタンの数(3~8個)を変更するには

◀ / ▶ をタッチする。

※左右に、ドラッグ/フリックしても変更できます。

ボタンの変更を行うには

① 変更したいボタンをタッチする。

② AUDIOメニュー候補が表示されるので、新しく表示するボタンを選んでタッチする。

③ **戻る** をタッチする。

メニューの画面デザインを変更できます

① **デザイン変更** をタッチする。

② **スマート** / **シンプル** を選んでタッチする。

③ **決定** をタッチする。

※画面デザインを変更すると、AUDIOメニュー以外の各メニューの画面デザインも変更されます。

お知らせ

手順 **3** ですでに配置されているボタンをメニュー候補から選んだ場合、そのボタンはもとの位置から指定位置へ移動され、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。

例) **CD** を **TV** に変更する場合

TV は
すでに配置
されています。



メニュー候補から
TV を
タッチすると...



もとの **TV** は何も配置されて
いない状態になります。



F

Music Rack(録音と曲管理)

音楽CDを録音する	F-2
録音設定をする	F-4
録音した曲を削除する	F-5
お気に入り登録をする	F-6
お気に入りからアルバム/トラックを削除する	F-7
ジャケット写真を登録する	F-8
Gracenoteデータベースの更新について	F-9
更新方法の種類	F-9
更新の操作方法	F-9
Gracenoteデータベースを初期化する	F-10
録音した曲のタイトル情報を修正する	F-10
再生しないアルバム/トラックを選ぶ	F-12
SDカードの使用状況を確認する	F-12

音楽CDを録音する

Music Rackは本機で音楽CDをSDカードに録音し、再生できる機能です。

準備

本機にSDカードを挿入してください。[E-33]
※お買い上げ時、本機に8GBのSDカードが挿入されています。

1 録音する音楽CDを挿入する。[E-4]

※録音設定で**自動録音**に設定していると、手順**1**で未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。以降の操作は必要ありません。(1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音されません。)

※自動録音に設定していない場合など、手動録音するには手順**2**に進んでください。

2 CD再生画面で**録音**をタッチする。

※CD再生画面を表示するには
AUDIOメニュー([E-2])から**CD**をタッチします。



3 録音方法を選ぶ。



全曲録音する場合

“録音方法”の**全曲録音**をタッチする。

※SDカードの残容量が足りない場合はタッチできません。

録音する曲を選ぶ場合

① “録音方法”の**選択曲録音**をタッチする。

② トラックリストから録音したい曲をタッチして✓印を付ける。

③ **決定**をタッチする。

録音曲選択画面



→ 選択が解除され、ひとつ前の画面に戻ります。

→ 録音したい曲を確定します。

トラックをタッチするたびに✓印の表示⇄非表示が切り換わります。

☑: 録音します。

☐: 録音しません。

4 **録音開始**をタッチする。

録音を中止する

1 CD再生画面で **録音中止** をタッチする。

お知らせ

録音を中止しても録音が終わっているトラックはSDカードに保存されます。

お知らせ

録音・再生について

- 録音は本機で再生できる音楽CDのみ可能です。
※ MP3 / WMA ファイルのあるCDは録音できません。
- 録音した曲は本機のMusic Rackソースでのみ再生できます。本機のSDソースで再生したり、本機以外の機器で再生することはできません。
- 同じSDカードに同じ曲を重複して録音することはできません。
- 録音可能曲数の目安については **図 F-4** をご覧ください。ただし、SDカードに空きがあっても10 000曲を超える録音はできません。
- 音楽CDの記録面のキズ、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音する音楽CDに依存しますのでご了承ください。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、音楽CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音をしながら他のソースにすることができます。また、オーディオをOFFにしても録音は継続されます。
- 録音中は、Music Rackの再生は可能ですが、SDソースでの再生はできません。
- CDソースでリピート/ランダム/スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。
- 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が増えることがあります。
- 録音中に音楽CDを取り出した場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
- 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

SDカードについて

- 録音するとSDカードに「RECAUDIO」というフォルダが作成されます。「RECAUDIO」フォルダはパソコンなどで削除/変更を行わないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、SDカード内の保存データについては補償できません。

Music Rackのタイトル情報について

本機は音楽CDを録音するときタイトル情報と一緒に記録を行います。Music Rackのタイトル情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が記録されます。

お知らせ

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は最大で全角32(半角64)文字です。
- CD-TEXT情報があるCDの場合、CD再生画面ではCD-TEXT情報をタイトル情報として表示しますが、Music Rackのタイトル情報は本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が記録されます。(このため、CD再生画面とMusic Rack再生画面とでタイトル情報が異なる場合があります。)
- 録音した音楽CDの情報が本機のGracenoteデータベースから見つからなかった場合、トラック名: “トラックXX”(XXはトラック番号)、アルバム名: “新規アルバムXXXXXXXXX”(XXXXXXXXXは録音した日付)、アーティスト名: “新規アーティスト”と記録されます。
- 該当するジャンル名が無い場合は“その他”と表示されます。

Music Rackでは、録音した各トラック/アルバムのタイトル情報を修正できます。 **図 F-10**

録音設定をする

自動録音／手動録音の選択や、音質の設定をすることができます。

1 CD再生画面で「録音設定」をタッチする。

※ CD再生画面を表示するにはAUDIOメニュー(「E-2」)から「CD」をタッチします。

2 設定したい項目のボタンをタッチする。

録音可能時間を表示



録音管理

- 自動録音** …音楽CDを本機に挿入すると曲の再生とともに自動で録音を開始する。
※ 1曲でも録音済みの音楽CDを挿入した場合、自動録音は開始されません。
- 手動録音** …自動では録音を開始しない。

録音音質

◀ / ▶ をタッチして録音音質を設定できます。

録音音質と録音可能曲数の目安

録音音質 (ビットレート)	96 kbps	128 kbps	192 kbps	256 kbps	320 kbps
録音可能曲数	約2 900曲	約2 100曲	約1 450曲	約1 050曲	約850曲

※ 1曲を4分で換算し、付属のSDカード(8 GB)を使用した場合

録音した曲を削除する



注意

- 削除(初期化)中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 削除(初期化)すると、お客様の音楽データは消去され、もとに戻りません。

全ての曲を削除する(録音データ初期化)

- 1 AUDIOメニュー(E-2)から **Music Rack** をタッチする。
- 2 **情報** → **録音データ初期化** をタッチする。

選択した曲を削除する

- 1 AUDIOメニュー(E-2)から **Music Rack** をタッチする。
- 2 **編集** → **曲管理** をタッチする。
- 3 削除する曲を選ぶ。



アルバムを選んで アルバムごと削除	<ol style="list-style-type: none">① アルバムリストから削除するアルバムを選んでタッチする。② 削除 をタッチする。
トラックを選んで削除	<ol style="list-style-type: none">① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。② トラック表示 をタッチする。③ 削除するトラックを選んでタッチする。④ 削除 をタッチする。

お気に入り登録をする

1 Music Rackでお気に入りに登録したいトラック／アルバムを選曲する。

2 登録 → お気に入り をタッチする。

3 登録先のフォルダ(お気に入りフォルダ)を選んでタッチする。

選曲したトラックの アルバムを登録	お気に入りアルバム1 ～ お気に入りアルバム4 から選んでタッチする。
選曲したトラックを登録	お気に入りトラック1 ～ お気に入りトラック4 から選んでタッチする。

お知らせ

- お気に入りに登録したトラック／アルバムは選曲モードの **お気に入り** で選曲することができます。
- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りアルバム1

フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム2

フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム3

フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム4

フォルダ 200アルバム
(200CD)

4つのアルバム
フォルダ

1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能

お気に入りトラック1

フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック2

フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック3

フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック4

フォルダ 200トラック
(200曲)

4つのトラック
フォルダ

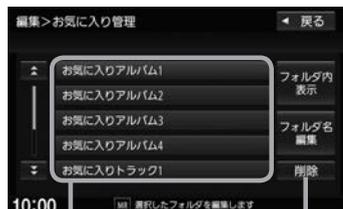
1フォルダに200曲
合計800曲登録可能

お気に入りからアルバム／トラックを削除する

1 AUDIOメニュー(Ⓛ E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 **編集** → **お気に入り管理** をタッチする。

3 お気に入りフォルダを選んでタッチし、**フォルダ内表示** をタッチする。



お気に入りフォルダのリスト — 選んだお気に入りフォルダ内の曲を全削除します。

4 リストから削除したいアルバム／トラックを選んでタッチし、**削除** をタッチする。

注意 削除中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入りフォルダのフォルダ名の変更ができます

① Music Rack再生画面で **編集** → **お気に入り管理** をタッチする。

※ Music Rack再生画面は、AUDIOメニュー(Ⓛ E-2)から **Music Rack** をタッチすると表示されます。

② フォルダリストから名前を変更したいフォルダを選んでタッチし、**フォルダ名編集** をタッチする。

③ フォルダ名を文字入力して、**決定** をタッチする。

ジャケット写真を登録する

準備

本機に、登録したい画像ファイルが入ったSDカードを挿入／USBメモリーを接続してください。

ジャケット写真に登録できる画像ファイル形式

- JPEG形式のみ登録可能です。
- 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
※ 176×176ピクセル以下では表示エリアより小さく表示されます。

Music Rack再生画面



ジャケット写真

- 1 AUDIOメニュー(Ⓛ E-2)から **Music Rack** をタッチする。
- 2 **編集** → **曲管理** をタッチする。
- 3 アルバムリストからアルバムを選んでタッチし、 **ジャケット写真** をタッチする。
- 4 登録したい画像ファイルを選ぶ。
 - ①登録したい画像ファイルが入ったメディア(**SDカード** / **USB**)を選んでタッチし、 **ジャケット写真を選択する** をタッチする。
 - ②フォルダリストから登録したい画像ファイルが入ったフォルダを選んでタッチする。
 - ③登録したい画像をタッチする。

お知らせ

- 登録したジャケット写真を削除することはできません。
- ジャケット写真を変更するには、上記の手順でジャケット写真を再度登録してください。

Gracenote データベースの更新について

更新方法の種類

更新方法は大きく下記の2つに分かれます。

オンライン検索	新しいタイトル情報をオンラインで取得する方法です。 <ul style="list-style-type: none">・ インターナビ・データ通信 USB を使用して、Gracenote 音楽認識サービスより情報を取得します。・ 音楽 CD (アルバム) ごとにタイトル情報を取得します。
パソコンを使用したデータベース更新	パソコンで指定ホームページからデータベース更新ファイルを取得して本機データベースを更新する方法です。 <ul style="list-style-type: none">・ ローカルアップデート (多数のタイトル情報をまとめてデータベース更新する方法) と、カスタムアップデート (アルバムで個別にデータベース更新する方法) が選択できます。・ パソコン、インターネット接続、SD カードなどの動作環境が必要です。

お知らせ

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、インターネット接続、SD カードなどの動作環境を整えていただく必要があります。
※ 必要な動作環境については、指定ホームページ*¹ をご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順 (操作方法) は指定ホームページ*¹ でご確認ください。
ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。
※ 専用アプリケーションは、バージョンにより対応しているナビゲーションが異なります。ご使用の機種に合わせて専用アプリケーションを入手してください。

更新の操作方法

オンライン検索	CD 再生画面のタイトル情報についてデータベース更新する CD 再生画面で オンライン検索 をタッチする。[F E-6] 録音した曲のタイトル情報についてデータベース更新する Music Rack のアルバム / トラック編集画面で オンライン検索 をタッチする。 [F F-11]
パソコンを使用したデータベース更新	指定ホームページ* ¹ でローカルアップデート / カスタムアップデートの操作方法をご確認ください。

* 1…指定ホームページ

<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

※ ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

Gracenote データベースを初期化する

1 MENU → 設定／情報 → サウンド → **gracenote** をタッチする。

2 **初期化** をタッチする。
※録音中はタッチできません。



注意

- 初期化中は他の操作(AUDIO ソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、お客様が今までオンライン検索／ローカルアップデート／カスタムアップデートで更新したデータは消去され、もとに戻りません。

録音した曲のタイトル情報を修正する

トラック名／アーティスト名／アルバム名の修正(名前と読み)およびジャンル分類を修正できます。

1 AUDIOメニュー(🔊 E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 タイトル情報を修正したい曲を選曲する。

3 修正対象を選び、下表の操作を行う。

選曲中のトラックのみ修正*1

編集 → **現在の曲** をタッチする。

選曲中のアルバム内の全曲を一斉に修正*2

編集 → **現在のアルバム** をタッチする。

* 1…アルバム名をトラックごとに手動修正することはできません。

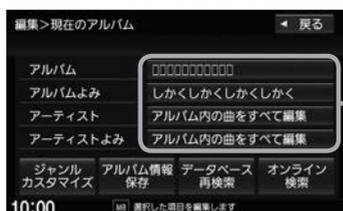
* 2…トラック名は、全曲一斉に手動修正することはできません。

録音した曲のタイトル情報を修正する

4 修正方法を選び、下表の操作を行う。

手動修正	トラック名／アーティスト名／アルバム名を修正 ① 変更する項目をタッチする。 ② 文字入力を行う。 ジャンル分類を修正 ① ジャンルカスタマイズ をタッチする。 ② ジャンルリストから選んでタッチする。
本機のデータベースを再検索* 1	データベース再検索 をタッチする。
オンライン検索	オンライン検索 をタッチする。

アルバム編集画面(例)

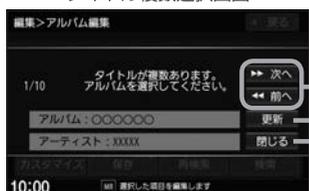


手動修正する場合は変更したい項目をタッチ
※アーティスト名の修正結果は、再生画面で確認できます。

お知らせ

データベース再検索 / **オンライン検索** をタッチして複数検索された場合は、下記画面が表示されます。

タイトル複数選択画面



- 1 **次へ** / **前へ** をタッチしてアルバムを選ぶ。
 - 2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチする。
- 閉じる** をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

* 1…本機のデータベースにタイトル情報が無いアルバム／トラックの場合、**データベース再検索** をタッチしても修正できません、またデータベースの情報が間違っている場合もあります。この場合、データベースの更新(ⓁⓂ F-9)をしてから再度 **データベース再検索** をタッチしてください。

再生しないアルバム／トラックを選ぶ

1 AUDIOメニュー(☰ E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 **編集** → **曲管理** をタッチする。

3 下表の操作をして、再生しないアルバム／トラックの✓印を非表示にする。

再生しないアルバムを選ぶ	① 再生選択 をタッチする。 ② 再生しないアルバムをタッチして✓印を非表示にする。
再生しないトラックを選ぶ	① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。 ② トラック表示 をタッチする。 ③ 再生選択 をタッチする。 ④ 再生しないトラックをタッチして✓印を非表示にする。

(例)アルバム再生選択画面



4 **決定** をタッチする。

お知らせ

- 再生選択は、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- 再生選択で再生しない設定をしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100より多い場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** が表示されます。 **前へ** / **次へ** をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。

SDカードの使用状況を確認する

1 AUDIOメニュー(☰ E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 **情報** → **SDカード情報** をタッチする。

G

携帯電話との連携

携帯電話のBLUETOOTH接続	G-2
携帯電話をBLUETOOTH接続する	G-2
登録した携帯電話の一覧を見る	G-3
本機のBLUETOOTH情報を確認する	G-4
NaviCon [®] を使用する	G-4
Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う	G-6
ハンズフリーで電話する	G-8
電話を受ける(着信時の操作)	G-8
通話中の操作	G-9
電話をかける	G-10
ハンズフリーの通話設定をする	G-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する	G-14

携帯電話のBLUETOOTH接続

携帯電話をBLUETOOTH接続する

BLUETOOTH接続するには、携帯電話を本機にハンズフリー登録して、割り当てを行ってください。なお、一度BLUETOOTH接続すると、次回からは自動でBLUETOOTH接続を行います。

お知らせ

BLUETOOTH接続を解除するには、割り当てを解除してください。[P] 下記「割り当てを行う」

携帯電話を本機にハンズフリー登録する

ハンズフリー登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源をお切りください。

1 MENU → 電話 → 設定 → 機器登録 → ハンズフリー をタッチする。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器がBLUETOOTH接続中の場合は切断する必要があります。切断確認のメッセージが表示された場合は **はい** を選んで切断してください。

2 携帯電話側を操作してハンズフリー登録を行う。

お知らせ

- 登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 **はい** をタッチすると登録が完了します。
- BLUETOOTH Audio登録もできる場合は確認メッセージが表示されるので、 **はい** (登録する) / **いいえ** (登録しない) を選んでください。

割り当てを行う

登録した携帯電話に、どの機能を割り当てるかを設定します。

1 MENU → 電話 → 設定 → 登録機器一覧 → ハンズフリー をタッチする。

⇨携帯電話登録一覧画面が表示されます。

※携帯電話がハンズフリー登録されていない場合、 **登録機器一覧** → **ハンズフリー** はタッチできません。

2 割り当てる携帯電話の / をタッチする。

 : ハンズフリーで電話をする携帯電話に割り当て

 : Drive T@lker・NaviCon®をする携帯電話に割り当て

※ Drive T@lkerを使用する携帯電話は、  と  の両方を設定してください。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度  /  をタッチしてください。



お知らせ

ハンズフリー登録について

- ハンズフリー登録は4台まで登録可能です。(BLUETOOTH接続できる携帯電話は1台までです。)すでに4台登録済みの場合は登録操作はできません。
- 本機に登録済みの携帯電話を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

割り当てについて

- 割り当てはハンズフリーで1台まで、Drive T@lker・NaviConで1台まで可能です。
- 新規に携帯電話をハンズフリー登録したときは、割り当てが変わります。
- 割り当てが変わると、BLUETOOTH接続先が新しく割り当てられた携帯電話へ変更されます。

BLUETOOTH接続について

- 携帯電話が接続できない状況(携帯電話の電源が入っていない、携帯電話側でBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- BLUETOOTH接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 携帯電話を登録して“ハンズフリー”に割り当てると、携帯電話のアイコンが地図画面に表示されます。

携帯電話の電波と電池状態を表示(BLUETOOTH接続中のみ表示)
※機種により表示されない場合があります。

登録・割り当てされていると表示
(BLUETOOTH接続できていない場合は暗く表示)



- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の一覧を見る

※携帯電話登録一覧画面で、登録の削除／登録携帯電話の詳細情報確認ができます。

1

MENU → **電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **ハンズフリー** をタッチする。

⇒携帯電話登録一覧画面が表示されます。

※携帯電話がハンズフリー登録されていない場合、**登録機器一覧** → **ハンズフリー** はタッチできません。

登録を削除する

1 携帯電話登録一覧画面で、削除したい携帯電話名のボタンを選んでタッチする。

2 **削除** をタッチする。

登録している携帯電話の詳細情報を見る

1 携帯電話登録一覧画面で、詳細情報を見たい携帯電話名のボタンを選んでタッチする。

携帯電話のBLUETOOTH接続

本機のBLUETOOTH情報を確認する

BLUETOOTH情報画面で、デバイス名／パスキーの変更ができます。

- 1 **MENU** → **電話** → **設定** → **本体情報** をタッチする。
⇒ BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で **デバイス名変更** をタッチする。



- 2 デバイス名を入力し、**決定** をタッチする。

パスキーを変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で **パスキー変更** → **ハンズフリー** をタッチする。
- 2 パスキーを入力し、**決定** をタッチする。

NaviCon[®] を使用する

NaviCon[®] は、スマートフォンで探した目的地を本機に転送し、本機でルート探索・ルート案内などが行えるスマートフォンアプリです。

※NaviCon[®]アプリの入手方法、NaviCon[®]に関する詳細は、NaviCon[®]のWebサイト (<https://navicon.com/user/support/>) をご覧ください。

本機でNaviCon[®]が使用できる端末について

NaviCon[®]アプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンで使用可能です。(NaviCon[®]アプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンについては、NaviCon[®]のWebサイトをご覧ください。)

※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviCon[®]を使用することができません。

※スマートフォンによっては使用できない場合があります。

- 準備**
- ・本機とスマートフォンのBLUETOOTH接続を確認してください。
(接続方法 G-2)
 - ・iPhoneでNaviCon[®]を使用する場合、ケーブル接続しているiPodやiPhoneを全て外してください。

NaviCon[®]を使用する

本機は、「目的地の転送」と「友達マップの表示」に対応しています。

目的地を本機に転送してルート探索する

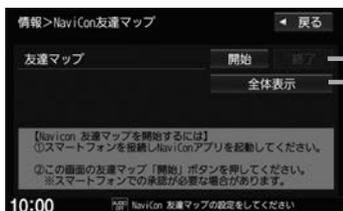
- 1 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを起動する。
- 2 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを操作して、目的地を設定する。
⇒目的地が転送され、本機でルート探索を開始します。

お知らせ

- 手順 2 でルート探索後、本機にルートの全表示画面が表示された場合は、本機で **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。
- 本機に転送できない場合は、海外の目的地を転送している可能性があります。転送する目的地をご確認ください。

友達マップを表示する

- 1 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを起動する。
- 2 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを操作して、友達マップを開始する。
- 3 本機で **MENU** → **設定/情報** → **情報** → **NaviCon 友達マップ** をタッチし、「友達マップ」の **開始** をタッチする。



友達マップの表示をやめるには

終了 をタッチする。

開始 をタッチ後に **全体表示** をタッチすると、現在表示できる友達アイコンが全て表示される地図画面に切り換わります。(場合によっては、全て表示できないときもあります。)

↓ **開始** をタッチ後、地図画面に切り換えると…

友達マップ画面



友達アイコン

※色で友達の通信状態を表します。
緑色：オンライン、灰色：オフライン

友達マップ表示を開始しているとインジケータを表示します。

※スマートフォンの通信回線の状態により色が変わります。

緑色：通信中、黄色：通信不能

※友達マップ表示を終了する、またはBLUETOOTH接続が切断されると、インジケータは消えます。

お知らせ

- NaviCon[®]アプリ側で地図をスクロール/拡大/縮小すると、本機の地図にも反映されます。
- NaviCon[®]アプリのバージョンによってはNaviCon[®]連携できない場合があります。NaviCon[®]アプリは最新のバージョンでご使用ください。
- NaviCon[®]アプリ側での操作方法は、NaviCon[®]のWebサイトまたはNaviCon[®]のヘルプをご覧ください。

Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う

Drive T@lkerはスマートフォン用の音声認識アプリです。Drive T@lkerがインストールされたスマートフォンと連携することで、発話で目的地を設定したり、天気を調べたりすることができます。

音声認識を利用するには、スマートフォンアプリ「Drive T@lker」と、本アプリに適合したiPhoneおよびAndroid スマートフォンが必要です。

「Drive T@lker」アプリのダウンロードや適合スマートフォンについては<https://www.honda.co.jp/navi/support/>をご覧ください。

準備

- ・本機とスマートフォンのBLUETOOTH接続を確認してください。
(接続方法 [P. G-2])
- ・iPhoneでDrive T@lkerを使用する場合、ケーブル接続しているiPodやiPhoneを全て外してください。
- ・スマートフォン側でDrive T@lkerアプリを起動してください。

1

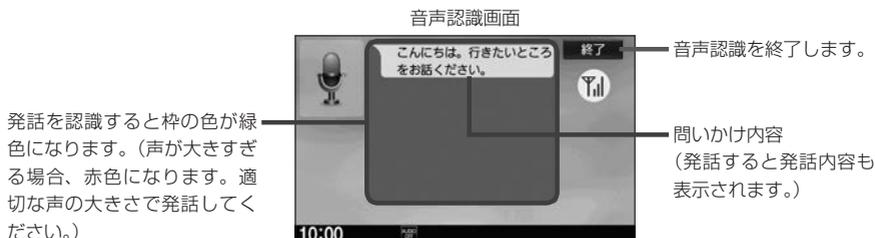
AUDIO を長押しする。

2

音声ガイドの問いかけに、本機のマイクに向かって発話して応答する。

※音声ガイド中は発話しても認識されません。

音声ガイドのあと、効果音が鳴ってから発話してください。



お知らせ

- 音声ガイド中に画面をタッチすると、音声ガイドをスキップできます。(手順 **2** で最初に問いかけの音声ガイドなど、スキップできない場合があります。)
- MENU** / **【現在地】** を押すなどして音声認識画面から別の画面に切り換えたり、ハンズフリーで電話を発信／着信したりすると、音声認識は終了します。
- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。(ただし、Android 端末の場合、Drive T@lkerアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。)
- 音声認識を起動すると、車両によっては発話を認識しやすくするため、車のエアコンの風量を抑える場合があります。

音声認識の流れ(目的地設定での問いかけと発話の例)

音声ガイド：「こんにちは。行きたいところをお話ください。」

発話：「近くのガソリンスタンド。」

音声ガイド：「この付近のガソリンスタンドをお調べします。」

・・・。

20件のガソリンスタンドが見つかりました。

近い順に

1.〇〇石油××SS

2.△△石油××SS

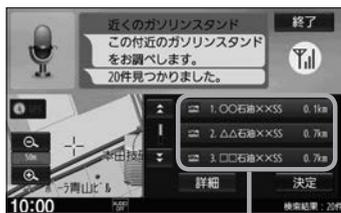
3.□□石油××SSです。」

発話：「3番。」

音声ガイド：「□□石油××SSを目的地に設定しますか?」

発話：「はい。」

音声ガイド：「ルートを探します。お気をつけて。」



ガソリンスタンドが見つかりるとリスト表示します。

発話の他、リストをタッチしても選択ができます。

※タッチ操作をした場合、発話の認識は終了しますので、以降はタッチ操作で目的地設定を行ってください。

音声認識が使用できるシーンと発話例

本機の音声認識では、「目的地(経由地)を設定する」「探索条件を設定(変更)する」「天気調べる」を行うことができます。下記の発話例を参考にしてください。

• 目的地を設定するときに

使用シーン例	発話例
住所で設定したい	「東京都港区南青山2の1の1」
近くで食事したい	「周辺のファミレス」
名称で目的地設定し、条件は 有料優先 で探索する	「東京駅。有料優先で」

• ルート案内中に

使用シーン例	発話例
経由地を設定したい	「コンビニに立ち寄り」
探索条件を 一般優先 に変えたい	「一般優先で」
目的地の天気が知りたい	「目的地の天気は?」

• その他

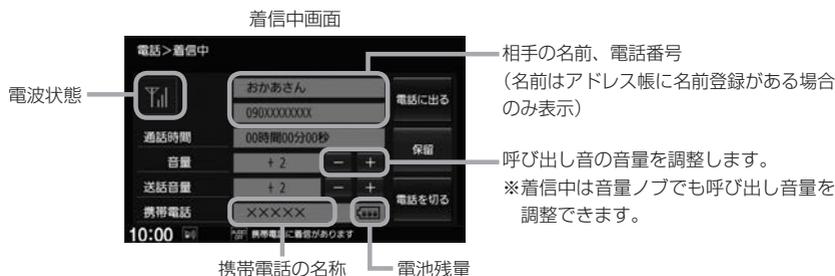
使用シーン例	発話例
翌日以降の天気が知りたい	「明日の天気」「週間天気」
音声ガイドをもう一度聞きたいとき	「もう一度」
言い間違いや、音声認識が間違っ、やり直したいとき	「違う」「やり直し」「キャンセル」

ハンズフリーで電話する

※ハンズフリーで電話するには、あらかじめ携帯電話を本機とBLUETOOTH接続(図G-2)しておく必要があります。

電話を受ける(着信時の操作)

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。



1 操作したいボタンを選んでタッチする。

電話に出る

通話が開始され、通話中画面が表示されます。

保留

相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。

着信保留中画面



※着信保留を行うためには、携帯電話が着信保留に対応している必要があります。

(対応していない携帯電話ではメッセージが表示されます。)

※保留中も相手には通話料金がかかります。

電話を切る

かかってきた電話を応答せずに切ります。

お知らせ

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
 - 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。
 - 電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
- また、電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

通話中の操作

通話が始まると、通話中画面が表示されます。



1 操作したいボタンを選んでタッチする。

ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます) ※ミュートを行うと、 ミュート が 通話 に変わります。 通話 をタッチすると、自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話切替	ハンズフリーをやめて、携帯電話での通話に切り換えます。 ※携帯電話に切り換えると、 携帯電話切替 が ハンズフリー切替 に変わります。 ハンズフリー切替 をタッチすると、ハンズフリーでの通話に戻ります。
トーン	0 ~ 9 、 * 、 # が表示されるので、タッチするとトーン入力を行います。 ※走行中はトーン入力できません。
電話を切る	電話を切って通話を終了します。

お知らせ

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り換わらない場合があります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- ハンズフリー音声出力中は、案内出力スピーカーの設定(「**設定**」D-19)で**右前**に設定していると右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となり、**左前**に設定していると左(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、右(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はオーディオの音量調整は無効となります。

通話中の地図画面表示について

- 通話中に**現在地**を押すと、地図画面が表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、**MENU** → **電話** をタッチしてください。

ハンズフリーで電話する

電話をかける

1 MENU → 電話 をタッチする。

2 電話をかける方法を選んでタッチする。

ダイヤル	0 ~ 9、*、# が表示されるので、 電話番号を入力して 発信 をタッチする。 ※36桁まで入力でき、画面には24桁まで表示します。
リダイヤル	前回電話をかけた番号に発信します。 メッセージを確認して、 はい をタッチする。 ※発信履歴が無い場合、 リダイヤル は選べません。
発信履歴 / 着信履歴	① 履歴リストが表示されるので、 電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 発信 をタッチする。
アドレス帳	① アドレス帳画面が表示されるので、 電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 番号1に発信 / 番号2に発信 を選んでタッチする。 ※あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤル画面が表示されるので、 電話をかける先の 発信 を選んでタッチする。 ※あらかじめワンタッチダイヤル画面で電話番号を登録しておく必要があります。[P] G-13

電話をかけると、発信中画面が表示されます。



お知らせ

- 走行中は発信操作が制限されます。
- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
(例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります。)

発信履歴／着信履歴について

※表示するには、**MENU** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチします。

履歴リスト画面



履歴を全て削除する*1

全削除 をタッチする。

タッチすると履歴の詳細画面が表示されます。

履歴を1つ選んで削除する

- ① 履歴リスト画面で削除する履歴を選んでタッチする。
- ② **削除** をタッチする。

履歴詳細画面



お知らせ

- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名は表示されません。)
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

* 1…発信履歴リスト画面で **全削除** をタッチした場合、発信履歴を全削除し、着信履歴は削除しません。(発信履歴と着信履歴を両方同時には削除しません。)

ハンズフリーで電話する

アドレス帳画面について

※表示するには、**MENU** → **電話** → **アドレス帳** をタッチします。

アドレス帳のリスト順序を **メモリ順** / **名前順** に切り換えができます。

※携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合や、本機に転送したアドレス帳に正しく50音に割り当てされない場合があります。



ひらがなリスト送り

メモリ順 をタッチ

名前順 をタッチ



タッチしたメモリ番号のアドレスまでリスト送りします。

全アドレスを削除する

全削除 をタッチする。

アドレスを1つ選んで削除する

- ① アドレス帳から削除するアドレスを選んでタッチする。
- ② **削除** をタッチする。

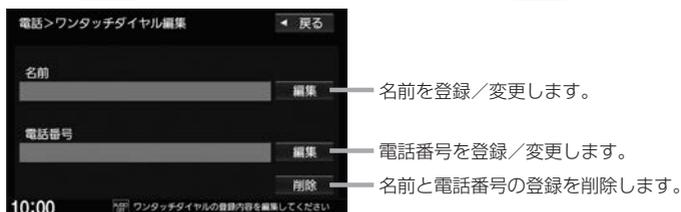


ワンタッチダイヤルについて

ワンタッチダイヤルは、あらかじめ電話番号を登録しておくことで、少ない操作回数で電話発信できる機能です。(ワンタッチダイヤルは5件まで登録できます。)

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録する

- ① **MENU** → **電話** → **ワンタッチダイヤル** をタッチする。
⇒ワンタッチダイヤル画面が表示されます。
- ② 登録したい場所の **編集** を選んでタッチする。
- ③ “名前” の **編集** をタッチし、文字を入力して **決定** をタッチする。
- ④ “電話番号” の **編集** をタッチし、電話番号を入力して **決定** をタッチする。



車両のオーディオリモコンスイッチを使ってワンタッチダイヤルで電話発信する

※ステアリングリモコン設定(EP1-40)でオフフック機能を設定しておく必要があります。

- ① オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。
⇒ワンタッチダイヤル画面が表示されます。
- ② オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。

ワンタッチダイヤル画面



- ③ 発信確認のメッセージを確認して、
オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。
⇒発信を開始します。

お知らせ

ステアリングリモコン設定でオフフック機能を設定している場合、オフフック機能キーを押すと、電話を切ることができます。

ハンズフリーの通話設定をする

1 MENU → 電話 → 設定 → 通話設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**−** / **+** など)をタッチして設定する。

着信音量

着信時の呼び出し音の音量を **−** / **+** で設定できます。

受話音量

通話中の相手の声の音量を **−** / **+** で設定できます。

送話音量

通話中の相手に伝わる自分の声の音量を **−** / **+** で設定できます。

ノイズキャンセル

相手が聞き取りやすくなるよう、マイクに入ったノイズ音(周囲の騒音など)を小さく抑えて送話する機能の **ON** / **OFF** を設定できます。

お知らせ

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくははっきりとお話してください。
- ノイズキャンセルは、ノイズ(騒音)の種類によっては十分に抑えられない場合があります。
- 携帯電話(相手側を含む)によっては、ノイズキャンセルを **ON** にすると自分の声が途切れて相手にうまく伝わらない場合があります。この場合は、ノイズキャンセルを **OFF** にすると聞き取りやすくなる場合があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。

本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

1 携帯電話を本機と BLUETOOTH 接続する。☞ G-2

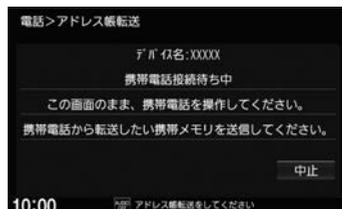
2 MENU → 電話 → 携帯メモリ読み出し をタッチする。

お知らせ

- お使いの携帯電話の機種によっては、**携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。(この場合の転送は全件転送のみとなります。)この場合、☞ G-15 手順 4 に進んでください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。
- BLUETOOTH Audio 機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できない場合があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

- 3** 携帯電話を操作して、転送したいアドレス帳を選んでデータ送信を開始させる。



お知らせ

アドレス帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。

追加保存 / **上書き保存** を選んでタッチしてください。

上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。



- 4** アドレス帳転送(読み出し)が完了したら、**終了** をタッチする。

お知らせ

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。(転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。)
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。
- 転送したアドレス帳を見たり、アドレスを削除するには **設定** G-12

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話によっては本機へアドレス帳を転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のエンジンスイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 転送中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前: 全角9文字まで / よみ: 半角18文字まで / 電話番号: 36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。

H

インターナビ

インターナビ機能	H-2	パーソナル・ホームページと	
インターナビを利用する前の準備	H-4	スマートフォンアプリについて	H-16
セットアップをする	H-5	インターナビ プレミアムクラブ会員の方	H-16
データ通信について	H-6	Honda Total Care 会員の方	H-17
リンクアップフリーについて	H-6	パーソナル・ホームページと同期する	H-18
リンクアップフリーの専用通信機器について	H-6	Myコース	H-18
internaviのトップ画面	H-7	目的地クリップ	H-19
Hondaからのお知らせを見る	H-8	インターナビの情報サービス	H-19
販売店の連絡先を表示する	H-8	インターナビの情報サービスを見る	H-19
インターナビ交通情報	H-9	カーカルテを見る	H-20
インターナビ交通情報の取得	H-11	インターナビの設定をする	H-21
駐車場セレクト	H-12	インターナビの各設定を初期化する	H-22
駐車場を探して、目的地に設定する	H-12	緊急サポートに電話をかける	H-23
インターナビ・ウェザー	H-14	地図データ更新サービス	H-24
気象情報を見る	H-14		

インターナビ機能

インターナビは、Honda 車オーナーのために生まれたオーナーズサービスです。サービス概要のイメージ(下図)のように、上手に利用して、快適で安心なドライブをお楽しみください。

出発時刻アドバイザー

ルートと希望の到着時刻を設定すれば、最適な出発時刻を案内します。



何時に出れば
いいのかな？



混雑

順調

メンバーだけの
ルート案内で
ス～イスイ！

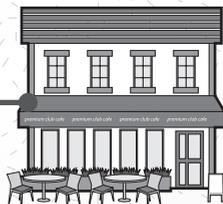
インターナビ・フローティングカーシステム

☎ H-10

メンバーだけが共有できる交通情報で最適なルート案内します。

Myスポット情報 ☎ H-18

パーソナル・ホームページで作成したMyスポットを本機の目的地に設定できます。



ルート状況タイムリー配信

交通状況の変化を自動でチェックします。

インターナビ交通情報 H-9

目的地までの交通情報をオンデマンドで受信し、出発地点から最短時間のルートを誘導します。

internaviルート D-12「探索条件」

お客様のニーズに合わせて、最適なルートを選べます。

Hondaからのお知らせ

 H-8

カーライフに役立つ情報などHondaからの重要なお知らせを受信し表示します。

駐車場セレクト H-12

料金や営業時間など、希望の条件にあった駐車場を案内します。

インターナビ・ウェザー H-14

現在地や目的地周辺の気象情報をわかりやすく提供します。

駐車場探しも簡単
目的地へ到着！

天気予報も
バッチリ！

渋滞や規制、
通行止めも心配なし！

無償地図更新サービス

 H-24

3年間に3回、無料で地図更新サービスをご提供します。

インターネットナビを利用する前の準備

インターネットナビは、Honda車オーナーのために生まれたオーナーズサービスで、ナビゲーションとのデータ通信を利用した様々なサービスを提供しています。

本機でインターネットナビを利用するには、会員登録(無料)と、本機のセットアップが必要です。

1. 会員登録の手続き(無料)

会員登録はHonda販売店(Honda Cars 店、ホンダオートテラス店)で承ります。

Honda Total Careの会員登録時に必要事項をご記入ください。Honda販売店がインターネットナビ情報センターに登録をいたします。

登録後、インターネットナビ情報センターより「登録完了のご案内」が発行されます。必ず、「登録完了のご案内」をHonda販売店よりお受け取りください。

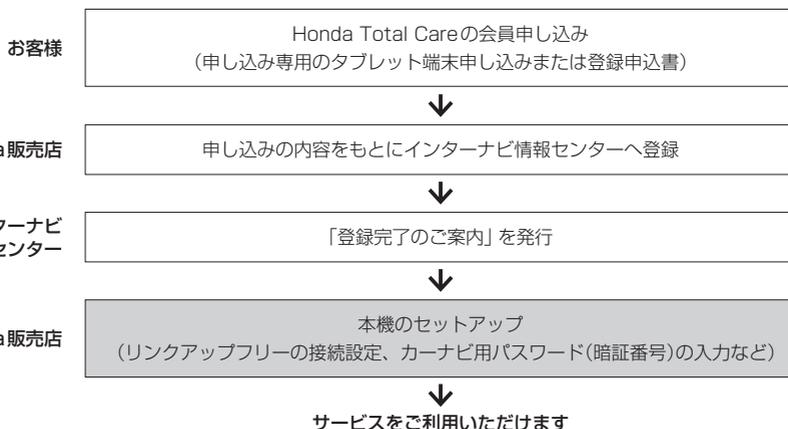
2. 本機のセットアップ

Honda販売店にてお客様のナビゲーションでインターネットナビがご利用できるようセットアップ(リンクアップフリーの接続設定、カーナビ用パスワード(暗証番号)の入力など)をさせていただきます。

お知らせ

- 中古などで本製品を入手された方も、最寄りのHonda販売店(Honda Cars店、ホンダオートテラス店)で会員登録手続きを承ります。Honda Total Careの基本会員の入会金・会費等は不要です。
- インターネットナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careのサービスを受けるには、お客様の個人情報の登録が必要になります。そのため、本製品を譲られる場合は個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda販売店へご依頼ください。
- カーナビ用パスワード(暗証番号)は、Honda販売店でお渡する「登録完了のご案内」に記載されています。
- カーナビ用パスワード(暗証番号)は大変重要なものですので、「登録完了のご案内」を紛失したり、第三者に渡したりしないよう、管理には十分ご注意ください。

インターネットナビのサービスを開始するまでの流れ



セットアップをする

セットアップは基本的にHonda 販売店でを行います。

初回認証をする

1 地図画面で **internavi** をタッチする。

⇒初回認証が開始されます。

■ 暗証番号入力メッセージが表示された場合

- ① **はい** をタッチする。
- ② **internavi暗証番号入力** をタッチする。
※データ通信できない状況ではタッチできません。
- ② **カーナビ用パスワード(暗証番号)を入力し、決定** をタッチする。

⇒初回認証が開始されます。

暗証番号入力メッセージ画面



お知らせ

- カーナビ用パスワード(暗証番号)は、インターナビ情報センターより発行される「登録完了のご案内」に記載されています。紛失しないようにご注意ください。

パスワードメモ用

- カーナビ用パスワード(暗証番号)を規定回数間違えると、一定時間初回認証ができなくなります。

※初回認証後、インターナビ交通情報の手動取得などの操作(☞P H-11)をして、認証を完了できているか確認を行ってください。

フレームNo.の確認方法について

初回認証ができない(インターナビに接続できない)場合は、フレームNo.が本機に正しく登録されていない可能性があります。以下の手順でご確認ください。

MENU ⇒ **設定/情報** ⇒ **internavi設定** をタッチし、“システム設定”の **設定する** をタッチする。画面表示の“フレームNo.”が会員ID(車台番号)と同じかどうかを確認してください。同じであれば正しく登録されています。

お知らせ

- 会員ID(フレームNo.)は会員登録時にHonda販売店が登録した取り付け車両の車台番号です。車検証でご確認ください。(アルファベットは大文字です)
- 正しく入力されていない場合は、**フレームNo.設定** をタッチし、画面に表示されたキーボードで正しく入力してください。**決定** をタッチすると入力した内容が登録されます。
※車両の装備やグレードによっては、フレームNo.の変更ができません(**フレームNo.設定** が暗く表示され、タッチできません)。この場合はHonda販売店にご相談ください。

データ通信について

リンクアップフリーについて

本機でインターナビのサービスを利用するには、本機とインターナビ情報センターとの間でデータ通信を行う必要があります。リンクアップフリーは、データ通信を無料で提供するサービスです。

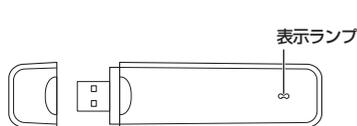
お知らせ

- リンクアップフリーを継続してお使いいただくには、車検時にHonda販売店で更新手続きをしていただく必要があります。Honda販売店以外で車検を受けられた場合は、別途更新手数料がかかります。詳しくはHonda販売店にお問い合わせください。
- リンクアップフリーは、Hondaが指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Hondaがお客様にインターナビシステムのデータ通信を所定の条件下で無料で提供するものです。本サービスの提供期間や通信品質については、Hondaはその責任を負うものではありません。

リンクアップフリーの専用通信機器について

リンクアップフリーを利用するには、専用通信機器(インターナビ・データ通信USB)をナビゲーション本体のインターナビUSBコードと接続し、正しく設定されている必要があります。

※車両の装備やグレードによっては、車両に装備されている通信機によりインターナビ通信を行います。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。



インターナビ・データ通信USB

表示ランプについて

ランプの状態	電波の状態	ランプの状態	電波の状態
青点灯	電波強、通信中	青点滅	電波強、待受け
緑点灯	電波弱、通信中	緑点滅	電波弱、待受け
赤点灯	USIMエラー	赤点滅	圏外
黄点灯	電波サーチ	消灯	非装着、非給電

接続先のインターナビUSBコードは、グローブボックスにあります。(インターナビ・データ通信USBを使用する場合のみインターナビUSBコードがあります。)



お知らせ

- 通信の特性上、高速での移動中や基地局からの距離、電波をさえぎるものなどにより通信ができない場合があります。
- 専用通信機器を他の車両・ナビゲーションシステム・その他の電子機器に接続してもデータ通信を行うことができません。上記接続を試みた結果、専用通信機器や接続した機器類に不具合が生じても、保証の対象とはなりません。
- 専用通信機器は、必ずインターナビUSBコードに接続してください。オーディオのUSBメモリーデバイスコードに接続しても、リンクアップフリーの機能をご利用いただけません。
- インターナビUSBコードに他のUSB機器を接続しないでください。故障の原因になります。
- 専用通信機器を高温の車内に放置すると、動作不良や故障の原因になりますのでご注意ください。

internaviのトップ画面

インターナビの各機能／サービスはinternaviトップ画面から操作します。

internavi トップ画面を表示する

- 1 地図画面で **internavi** をタッチする。



internavi トップ画面



Hondaからのお知らせなどのメッセージリストを表示します。

インターナビのメニューを表示します。

販売店の連絡先を表示します。

緊急サポート画面を表示します。*1

ダイレクトメニュー

(ダイレクトメニューはカスタマイズすることができます。)

各ボタンに利用したい機能を設定して使用してください)

ダイレクトメニューをカスタマイズする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **internavi設定** をタッチし、“internaviダイレクトカスタマイズ”の **設定する** をタッチする。
- 2 “配置” からカスタマイズしたいボタンを選んでタッチする。
- 3 “候補” からボタンに設定したい機能を選んでタッチする。

お知らせ

- 候補はインターナビのサービス項目の変更により、変化します。
- インターナビのサービス項目が変更されると、カスタマイズの内容は自動的に初期化されます。



配置をお買い上げ時に戻します。*

* 1…車両の装備やグレードによっては、車両側の操作により緊急サポートに電話をかけることができます。その場合、本機には **緊急サポート** ボタンは表示されず、本機からは緊急サポートに電話をかけることができません。車両側の操作について詳しくは車両の取扱説明書をお読みください。

Hondaからのお知らせを見る

Hondaから地図データの更新情報や、利用製品に関する情報、車の走行距離・お住まいの地域・季節に合わせたカーライフに役立つ情報などをお知らせします。

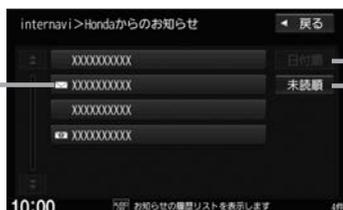
1 地図画面で **internavi** → **メッセージセンター** をタッチする。

2 カテゴリーリストから選んでタッチする。

3 見たいメッセージを選んでタッチする。

未読メッセージには未読マークが表示されます。

※重要度の高い未読メッセージの場合、が表示されます。



リストを日付順に並べます。

未読のメッセージが上に集まるよう並べます。

お知らせ

●メッセージは一定の保存件数を超えると自動的に削除されます。なお、手動で(不要なメッセージを選んで)削除することはできません。

●未読メッセージがある場合、地図画面の **internavi** に未読マークが表示されます。

未読の場合、と表示
(重要度の高い未読メッセージの場合、と表示)



販売店の連絡先を表示する

Honda 販売店などの連絡先を表示できます。

1 地図画面で **internavi** → **販売店連絡先** をタッチする。

2 **Myディーラー** / **任意保険** から表示したい連絡先を選んでタッチする。

Myディーラーの連絡先画面(例)



電話番号の登録があり、ハンズフリーで電話できる状態のときは、タッチすると電話発信します。

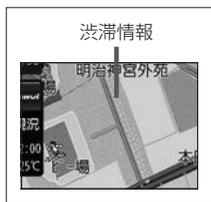
インターナビ交通情報

インターナビ交通情報は、全国のVICS情報とフローティングカー情報を統合して作られたHonda独自の交通情報です。インターナビ交通情報を取得すると、以下の動作を行います。

地図画面に交通情報を表示

- VICSの渋滞情報や規制情報
※ VICS情報の表示については「[P1-3](#)」をご覧ください。
- フローティングカー情報による渋滞情報： 
(赤色：渋滞、橙色：混雑、緑色：順調)
- 通行実績情報マップの表示： 
※大規模地震等が発生した際に、インターナビ情報センターから通行実績情報を配信します。通行可能な道路を緑色の点線で表示します。
- 急減速多発地点の表示(安全運転コーチング)： 

フローティングカー情報による渋滞情報表示の例



急減速多発地点表示の例



急減速多発地点

お知らせ

フローティングカー情報の表示について

- 縮尺が1 km以下の地図画面で表示されます。
- 表示/非表示は、VICS情報の地図表示設定（[P1-5](#)）に連動します。
- フローティングカー情報の設定で「**する**」を選んでいる必要があります。

通行実績情報マップの表示について

- 表示するには、通行実績情報マップを表示する設定にしてください。（地図画面で **internavi** → **メニュー** → **通行実績情報マップ** → **通行実績情報マップ表示設定** をタッチし、**表示する** をタッチ）
- 縮尺が1 km以下の地図画面で表示されます。

急減速多発地点(安全運転コーチング)の表示について

- 安全運転コーチングを利用するには
・ 設定を「利用する」にしてください。
（地図画面で **internavi** → **メニュー** → **安全運転コーチング** をタッチし、**利用する** をタッチ）
・ 探索条件（[P1-2](#)）を **internaviルート** に設定して目的地設定・ルート探索をしてください。
- 縮尺が20 km以下の地図画面で表示されます。
- ルート案内中、「急減速多発地点」に近づくと注意喚起を行います。

インターナビ交通情報を利用したルート探索

- 目的地を設定してルート探索するとき、目的地方面の交通情報も取得して探索します。
※ 目的地が遠方(200 km以上)の場合は、ルートの途中までの交通情報を取得します。
※ **internavi** 設定の「ルート案内時連動取得」で「**しない**」を選んでいる場合は行いません。

防災情報の表示

- 取得した交通情報に防災情報(津波情報・豪雨地点予測情報など)が含まれている場合、画面に情報が表示されます。



お知らせ

- 防災情報配信は、パーソナル・ホームページから以下の手順で停止できます。
 - ① パーソナル・ホームページからログインする。
[H-16]
 - ② 「防災情報配信」をクリックする。
 - ③ 配信を停止したい情報の「配信を停止する」をクリックする。
- 防災情報を表示後に次の操作をすると再び見ることができます。
地図画面で **internavi** → **メニュー** → **internavi 図形情報** をタッチする。

フローティングカー情報について

インターナビ情報センターでは、日本中のインターナビ装着車から走行データ(ある道路を走行したときの所要時間などの情報)をご提供いただいています。この走行データをフローティングカー情報と呼びます。インターナビ情報センターは、収集したフローティングカー情報を VICS 情報と統合してルート案内に役立つ交通情報を作成しています。

お知らせ

- フローティングカー情報は、30分以内に同じ道路を走行したデータがある場合はその情報を、無い場合には過去の同時刻帯のデータを統計処理した情報を提供しています。
- フローティングカー情報は、生活道路や裏道などの全ての道路を対象とするものではありません。
- ご提供いただくフローティングカー情報は、お客様が特定できない形式に処理を行い、個人を特定するデータは保存されません。

インターネットナビ交通情報の取得

インターネットナビ交通情報の取得には、手動取得と自動取得があります。

インターネットナビ交通情報を手動で取得する

※ダイレクトメニューのカスタマイズ(「P.7」)で **internavi交通情報** の設定が必要です。

1 地図画面で **internavi** → **internavi交通情報** をタッチする。

※情報の取得を中止したい場合は、**取得中止** をタッチしてください。

※どの場所の交通情報を取得するかは、下表のように変わります。

現在地周辺の交通情報を取得	現在地の地図画面で internavi → internavi交通情報 をタッチする。
地図スクロールして表示した場所周辺の交通情報を取得	地図スクロールして、 internavi → internavi交通情報 をタッチする。

お知らせ

ルートが設定されているときに、現在地の地図画面で交通情報を取得すると、現在地周辺に加えて、ルート沿いと目的地周辺の交通情報も取得します。(目的地が遠方の場合は、ルートの途中までの交通情報を取得します)

インターネットナビ交通情報の自動取得の設定をする

1 **MENU** → **設定/情報** → **internavi設定** をタッチする。

2 “システム設定” の **設定する** → **情報取得設定** をタッチする。

3 **常時接続** / **しない** を選んでタッチする。

常時接続 …… インターナビから情報が配信されると自動で取得する

しない …… 自動で取得しない

駐車場セレクト

条件を設定して駐車場を探すことができます。(条件の設定  H-13)

駐車場を探して、目的地に設定する

1 地図画面で **internavi** → **メニュー** → **駐車場セレクト** をタッチする。

2 駐車場の検索方法を選んでタッチしたあと、検索条件を選んでタッチする。



3 リストから駐車場を選んでタッチし、**決定** をタッチする。



操作を続けると、選んだ駐車場へのルート案内を開始できます。
以降の操作方法について詳しくは、 D-2手順 **2** をご覧ください。

お知らせ

- 走行中は操作の一部が制限されます。
- 一部の駐車場で表示が実際の情報と異なるものもあります。
- ダイレクトメニューのカスタマイズ( H-7)で **駐車場セレクト** が設定されている場合、下記操作でも駐車場を探して目的地に設定することができます。この操作の場合、下記の動作となります。
 - ・ 現在地の地図画面で **internavi** → **駐車場セレクト** をタッチ
 - …ルートが設定されているときは目的地周辺の駐車場を検索、ルートが設定されていないときは現在地周辺の駐車場を検索します。検索条件はあらかじめ設定( H-13)した条件で検索し、上記手順 **3** に進みます。
 - ・ 地図をスクロールして **internavi** → **駐車場セレクト** をタッチ
 - …地図スクロールした場所周辺の駐車場を検索します。検索条件はあらかじめ設定( H-13)した条件で検索し、上記手順 **3** に進みます。

駐車場セレクトの設定をする

- 1 地図画面で **internavi** → **メニュー** → **駐車場セレクト** → **駐車場セレクト設定** をタッチする。
- 2 変更したい設定を選んでタッチしたあと、設定したい項目をタッチする。



設定を初期化します。

- 3 どの設定にするかリストから選んでタッチし、**決定** をタッチする。



インターナビ・ウェザー

現在地や目的地の気象情報を見ることができます。

気象情報を見る

気象情報を見るには、気象情報の取得を行ってください。なお、気象情報を取得後に表示される内容は設定により変わりますので、あらかじめインターナビ・ウェザーの設定を行ってください。

気象情報を取得する

※ダイレクトメニューのカスタマイズ(「P」H-7)で **internaviウェザー** の設定が必要です。

1 地図画面で **internavi** → **internaviウェザー** をタッチする。

※情報の取得を中止したい場合は、**取得中止** をタッチしてください。

※どの場所の気象情報を取得するかは、下表のように変わります。

現在地周辺の気象情報	現在地の地図画面で internavi → internaviウェザー をタッチする。 ※ルートを設定している場合、「天気情報割込みの表示」では目的地の気象情報が表示されます。
地図スクロールして表示した場所周辺の気象情報	地図スクロールして、 internavi → internaviウェザー をタッチする。

お知らせ

ルート探索をしたとき、設定により気象情報を自動取得します。「P」H-21「ルート案内時連動取得」

インターナビ・ウェザーの設定をする

1 **MENU** → **設定／情報** → **internavi設定** をタッチし、 “internaviウェザー” の **設定する** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない**)を選んでタッチする。

地図上の天気表示

気象情報を取得したとき、「降雨／降雪／津波情報の地図画面表示」と「警戒エリアに進入時に音声でお知らせ」を **する** / **しない** の設定ができます。

※降雨量／降雪量が一定以下の場合は、「警戒エリアに進入時に音声でお知らせ」は行いません。



(例) 降雨エリアの表示

- ・降雨、降雪、津波の表示をします。
- ・縮尺が20 km以下の地図画面で表示します。
- ・降雨量／降雪量によって表示が変わります。
降雨量：(少) → → (多)
- 降雪量：(少) → → (多)
- ・津波は警戒度によって表示が変わります。
津波注意報 津波警報 大津波警報

インターナビ・ウェザーの設定をする

天気情報割込みの表示

気象情報を取得したとき、天気情報割込み画面を表示 **する** / **しない** の設定ができます。

天気情報割込み画面



見たい情報を選んでタッチしてください。
※情報が無いボタンはタッチできません。

例：警報・注意報の情報を取得できていない場合、

警報・注意報 はタッチできません。

お知らせ

- ルート探索時およびルート案内中に気象情報を自動取得した場合は割り込み表示しません。
- インターナビ交通情報の割り込み表示(防災情報など)と同時になった場合は、交通情報の割り込み表示になります。この場合、**🚨** をタッチすると天気情報の割り込み表示に切り換わります。

天気情報の割り込み表示に切り換えます。



気象予報アイコンの表示

気象情報を取得したとき、地図画面に気象予報アイコン表示を **する** / **しない** の設定ができます。
気象予報アイコンには、地図をスクロールした地点の気象情報が表示されます。

※気象情報が取得できていない場合は表示されません。

気象予報アイコン
(現在とアイコンに表示されている時刻の天気予報が表示されます。)



音声お知らせ

取得した気象情報に音声データがある場合、読み上げを **する** / **しない** の設定ができます。

お知らせ

- 走行中は操作の一部が制限されます。
- 取得場所に各気象情報が無い場合や、情報を取得できなかった場合、各表示はされません。
- 各表示は情報の取得から所定の時間が経過すると、表示されなくなります。

パーソナル・ホームページとスマートフォンアプリについて

インターナビでは、パソコンやスマートフォン向けのサービスも提供しており、パーソナル・ホームページやスマートフォン向けアプリから利用することができます。

燃費履歴や車のメンテナンス時期などの情報サービスを利用できます。

お知らせ

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 利用時の通信料およびプロバイダ接続料などは、お客様のご負担となります。
- ホームページ、アプリの内容は予告なく変更されることがあります。

インターナビ プレミアムクラブ会員の方

● パーソナル・ホームページ パソコンから

インターナビ プレミアムクラブのホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/internavi/>

● スマートフォンアプリ スマートフォンから

下記2つのアプリから利用できます。



インターナビ・リンクアプリ (無料)

給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。



インターナビポケット (一部有料)

出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、インターナビ プレミアムクラブのホームページ(<https://www.honda.co.jp/internavi/>)をご覧ください。

初めてログインする場合は、ログインID/パスワードにはプレミアムクラブのマスターID/マスターパスワードを入力してログインしてください。マスターID/マスターパスワードはプレミアムクラブ会員登録の際にお渡しする「登録完了のご案内」に記載されています。

Honda Total Care 会員の方

● Honda Total Care 会員サイト パソコンから

Honda Total Careのホームページからログインすることで利用できます。
<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

● スマートフォンアプリ スマートフォンから

下記2つのアプリから利用できます。



Honda Total Care 会員サイト

給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。



インターナビポケット (一部有料)

出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、Honda Total Careのホームページ(<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>)をご覧ください。

初めてログインする場合、ログインID/パスワードには仮ID/仮パスワードを入力してログインしてください。
仮IDは車台番号、仮パスワードはHonda Total Care会員番号の下6桁です。
Honda Total Care会員番号は会員申し込み時にお渡しする会員申込書に記載されています。

お知らせ

新規入会となる方はHonda Total Care会員へ登録をお願いします。

パーソナル・ホームページと同期する

パーソナル・ホームページと同期すると、お客様がパソコンなどを使ってパーソナル・ホームページで登録した情報と、本機で登録した情報をお互いに日付の新しい情報に更新することができます。(例えば、登録地点のデータを同期すると、パーソナル・ホームページで登録したMyスポットの地点を本機でルート探索に使えたり、本機で登録した地点をパーソナル・ホームページで見たりすることができます)

全ての情報をパーソナル・ホームページと同期する

1 地図画面で **internavi** → **メニュー** → **パーソナルHPと同期** をタッチする。

登録地点の情報のみパーソナル・ホームページと同期する

1 **MENU** → **設定/情報** → **ナビ設定** → **地点編集** → **パーソナルHPと同期** をタッチする。

お知らせ

- 本機に登録できる登録地点は最大300件です。
- 登録地点の情報の一部は、同期対象にはなりません。
- 自宅は同期対象にはなりません。

Myコース

パーソナル・ホームページに登録したMyコースのルートの本機に取り込んで、ルート案内することができます。

1 地図画面で **internavi** → **メニュー** → **Myコース** をタッチする。

2 パーソナル・ホームページに登録したコースのリストが表示されるので、選んでタッチする。

3 **決定** → **探索開始** をタッチする。

Myコースの目的地や経由地
(タッチすると、地点の情報
画面に切り換わります)



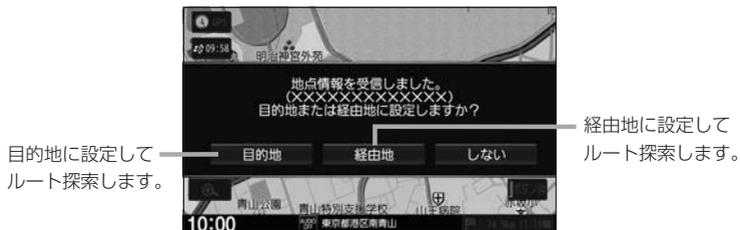
お知らせ

Myコースのルートは本機でルート探索しなおすため、パーソナル・ホームページで探索したルートと本機で案内するルートが異なる場合があります。

目的地クリップ

パーソナル・ホームページで目的地クリップを登録すると、登録した目的地が本機に送信されルート探索することができます。

目的地クリップの情報を取得すると、メッセージが表示されます。



インターナビの情報サービス

インターナビでは各種情報を配信しており、本機で見ることができます。

インターナビの情報サービスを見る

1 地図画面で **internavi** → **メニュー** をタッチする。

2 リストから選んでタッチする。

情報画面の例

読み上げ音声情報がある場合、表示中の全リストの内容を読み上げます。(読み上げ停止) をタッチすると、中止します)

読み上げ音声情報がある場合、内容を読み上げます。(読み上げ停止) をタッチすると、中止します)



タッチして、さらにリストが表示された場合は、選んでタッチしてください。

画像情報がある場合、表示します。

お知らせ

- インターナビの提供サービス変更に伴い、各種情報は変更される場合があります。
- 情報サービスにより、表示画面は異なります。

カーカルテを見る

エンジンオイルなどの消耗品の交換時期や、車検の時期を管理するカーカルテの情報を、本機で確認することができます。

1 地図画面で **internavi** → **メニュー** → **カーカルテ** をタッチする。

2 リストが表示されるので、確認したい項目を選んでタッチする。

●確認できる項目の例

メンテナンス記録

カーカルテに登録した消耗品リストが表示され、交換予定日などを確認できます。

タッチすると、各消耗品の交換登録を行うことができます。

メンテナンス記録画面(例)



交換項目	交換予定距離	交換予定日
ブレーキ液	25,723km	21.10.31
ミッションオイル	80,000km	26.09.17
エアクリーナエレメ...	50,000km	24.01.06
エンジンオイル	3,501km	19.11.01
エンジンオイルフィ...	14,612km	20.10.31
冷却水	114,611km	29.10.29

マイカースケジュール

カーカルテに登録した車検時期などを確認できます。

マイカースケジュール画面(例)



20XX年XX月XX日 XX時XX分XX秒	
車検: 20XX.XX.XX	検出エラー
免許:	更新案内
任意保険:	戻る
ロードサービス:	

お知らせ

- 交換サイクル距離、交換サイクル期間は、パーソナル・ホームページにて設定を変更することができます。(本機では変更できません)
- 車の利用状況により、消耗品の交換サイクルの推奨値が短くなる場合があります。

インターナビの設定をする

1 MENU → 設定／情報 → **internavi設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。



フローティングカー情報

自車の走行データをインターナビ情報センターに情報提供 **する** / **しない** を選択できます。

※フローティングカー情報(他のインターナビ装着車からの走行データ)を取得するには、**する** に設定する必要があります。

図形情報割り込み

図形情報を受信したとき、割り込み表示を **する** / **しない** を選択できます。

情報センターからの音声配信

取得したインターナビ交通情報に音声データがある場合、読み上げを **する** / **しない** を選択できます。

※ **しない** に設定しても、音声データによっては読み上げを行う場合があります。

ルート案内時連動取得

ルート探索するときの自動情報取得に関する設定です。

全ての情報 ……ルート探索のとき、インターナビ交通情報とウェザー情報を自動取得する

交通情報 ……ルート探索のとき、インターナビ交通情報を自動取得する

しない ……ルート探索のとき、情報の自動取得をしない

internavi ウェザー

☞ H-14

internavi ダイレクトカスタマイズ

☞ H-7

システム設定

インターナビ情報の自動取得設定(☞ H-11)や、セットアップに関する設定を行うことができます。

internavi 音量設定

① “internavi 音量設定” の **設定する** をタッチする。

② **-** / **+** / **消音** をタッチする。

- **+** ……音量を調整します。

(消音に設定されている場合は調整できません。)

消音 ……タッチするたびに消音⇄消音解除を切り換えます。(表示灯点灯:消音、消灯:消音解除)

インターナビの各設定を初期化する

1 MENU → 設定／情報 → internavi設定 → “internavi設定”の初期化をタッチする。

2 初期化したい設定を internavi設定 ／ internaviウェザー設定 ／ システム設定 から選んでタッチする。

緊急サポートに電話をかける

※緊急サポートへの連絡には通話料がかかります。

※Honda販売店で緊急サポートの申し込みと、本機のセットアップを完了しておく必要があります。

※車両の装備やグレードによっては、車両側の操作により緊急サポートに電話をかけることができます。その場合、本機には「緊急サポート」ボタンは表示されず、本機からは緊急サポートに電話をかけることができません。車両側の操作について詳しくは車両の取扱説明書をお読みください。

1 地図画面で「internavi」→「緊急サポート」をタッチする。

※「internavi」がタッチできない場合、**MENU** → **設定/情報** → **情報** → **緊急サポート** をタッチしてください。

2 「発信」をタッチする、

または携帯電話を使用して画面に表示されている電話番号にかける。

⇒オペレータが対応しますので、表示されている現在の地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

ハンズフリーで電話できる場合

「発信」をタッチする。

※走行中は発信できません。

発信画面



発信音量を調整します。

通話中画面



現在のマップコード 電話を切ります。

受信音量/送話音量を調整します。

ハンズフリーで電話できない場合

表示されている電話番号に携帯電話を使用してかける。



緊急サポートの電話番号

現在のマップコード

お知らせ

- 緊急サポートに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- バッテリーあがりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接緊急サポートに電話してください。
※緊急サポートの電話番号は、手順 2 の画面を表示させてあらかじめ控えておくことをおすすめします。
- 走行中は緊急サポート画面にマップコードが表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。

地図データ更新サービス

無償地図更新サービス

インターナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careでは、対象製品をご購入のうえ、会員登録していただいた場合、対象製品の地図データを無償で3回「2020年度版」「2021年度版」「2022年度版」に更新するサービスを提供いたします。

- 無償地図更新サービスはHonda販売店(Honda Cars店、ホンダオートテラス店)を通じて提供いたします。
- 無償地図更新サービスは、2020年・2021年・2022年の各年1回ずつ提供いたします。
- 無償地図更新サービスは、各年秋頃の提供を予定しております。なお、提供時期につきましては、インターナビ プレミアムクラブ会員専用パーソナル・ホームページまたはHonda Total Care会員サイトでご確認ください。
※地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

お知らせ

- 無償地図更新サービスは提供時期を過ぎますとサービスをお受けになれません。
- 無償地図更新サービスはお受けにならなかった年があっても、サービスの権利を翌年以降に持ち越すことはできません。
- 無償地図更新サービスをご利用頂くには、インターナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careへ会員登録していただいていることが原則となります。未登録の方や、中古車で本製品を装着した車輛を購入された方は必ずHonda販売店にて会員登録の手続きを行ってください。
- 本機をホンダアクセスの指定する車種以外に取り付けた場合は、無償地図更新サービスをお受けいただけなくなりますので、ご注意ください。
- 地図更新サービスをお受けになるには、
 - ・ インターナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careの会員登録が有効であること
 - ・ 更新の権利を確認するため、通信接続ができることが前提となります。
ただし、ナビゲーションシステムからの通信接続ができない場合は、パーソナル・ホームページまたはMyディーラー登録されているHonda販売店で更新用のパスワードを発行することが可能です。

有償地図更新サービス

有償の地図更新サービスをホンダアクセスより2023年および2024年のそれぞれ年末に販売予定です。

※地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。